

平成 27 年度

備前市 市民意識調査報告書

平成 27 年 8 月

目 次

I. 調査概要	4
1. 調査目的	4
2. 調査方法	4
3. 回収結果	4
4. 留意点	5
II. 調査結果	6
1. 人口減少・地方創生.....	6
2. 備前市の総合点	8
3. 住みやすさ	9
4. 定住意向	11
5. 市の取り組み（施策）の重要度・満足度の分析.....	12
6. 市の取り組み（施策）の重要度の分析.....	21
7. 市の取り組み（施策）の満足度の分析.....	25
8. 備前市での生活環境.....	29
10. 男女共同参画社会の推進に関して.....	46
11. 自由意見	52
12. 回答者の属性.....	55

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市が担うサービスの受け手である市民のみなさまに、市のこれまでの取り組みに対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対する考えをお伺いし、今後の市政運営の基礎資料として役立てることを目的としています。

2. 調査方法

(1) 調査方法

岡山県備前市全域

(2) 調査対象

市内在住の 18 歳以上 75 歳未満の男女 2,000 人

(3) 抽出方法

平成 27 年 4 月 1 日現在、満 18 歳以上 75 歳未満の市民から無作為抽出。

(4) 調査方法

調査票を郵送にて配布し、郵送にて回収。

(5) 調査期間

平成 27 年 4 月 24 日（金）～5 月 8 日（金）

3. 回収結果

	H18 年	H19 年	H20 年	H21 年	H22 年	H23 年	H24 年	H25 年	H27 年
抽出数 (a)	3,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
返送 (b)	18	13	10	6	8	11	8	7	0
実送付数 (c)=(a)- (b)	2,982	1,987	1,990	1,994	1,992	1,989	1,992	1,993	2,000
有効回答 数 (d)	1,306	906	892	977	811	892	702	844	815
有効回答 率 (d)÷(c)	43.8%	45.6%	44.8%	49.0%	40.6%	44.8%	35.2%	42.3%	40.8%

注) 返送は、転居先不明などにより返ってきたものです。

4. 留意点

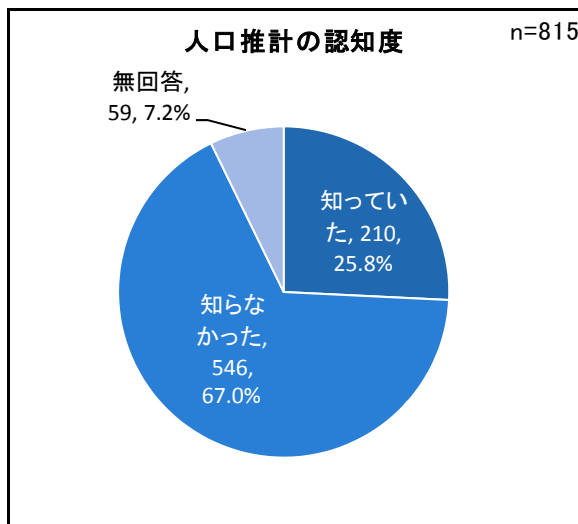
- (1) 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- (2) 一部の人を対象とする質問では、質問対象者数を分母にして算出しています。
- (3) 複数回答の場合の百分率の合計は、100%を超えます。
- (4) 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

II. 調査結果

1. 人口減少・地方創生

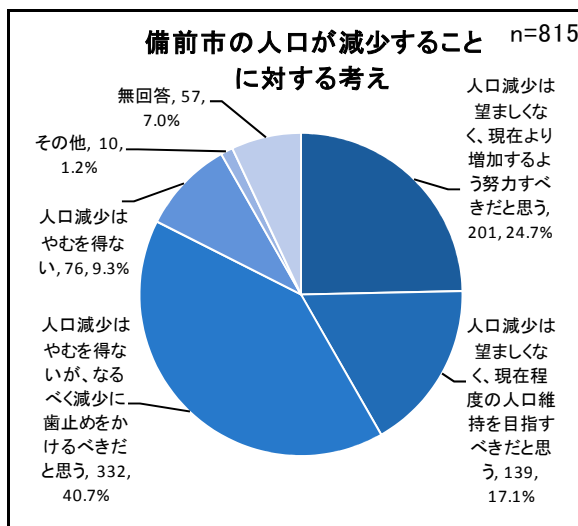
(1) 人口推計の認知度

人口推計の認知度に関する調査（問 1 備前市の人口は現在約 3.7 万人ですが、2040 年（25 年度）には約 2.3 万人に減少するとの国立社会保障・人口問題研究所の推計結果が公表されています。あなたはこの推計結果を知っていましたか？）の結果、「知っていた」が 210 件（25.8%）、「知らなかった」が 546 件（67.0%）であり、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果を知らない市民が約 7 割となっています。



(2) 備前市の人口が減少することに対する考え

備前市の人口が減少することに関する調査（問 2 備前市の人口が減少していくことについてあなたの考えにもっとも近いものを 1 つ選んでください）の結果、「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う」が 332 件（40.7%）がもっとも多く、次いで、「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う」が 201 件（24.7%）となっています。



(3) 人口減少が社会に与える影響

人口減少が社会に与える影響に関する調査（問 3 人口が減少していった場合に生じる社会への影響について、次のうちからあなたが影響が大きいと考えること及び不安に感じることを選んでください（〇は 3 つまで））の結果、「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担が増える」が 524 件（64.3%）と最も多く、次いで、「地域を支える担い手の不足や地域活力の低下する」が 400 件（49.1%）となっています。

人口減少が社会に与える影響	回答数	割合	
年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担が増える	524	64.3%	524
地域を支える担い手の不足や地域活力の低下する	400	49.1%	400
国や地方の税が減り、行政サービスが低下する	334	41.0%	334
過疎化の進行により市域が荒廃する	283	34.7%	283
労働力人口の減少などによる地域産業が衰退する	250	30.7%	250
人口減少による消費減などで、商店街などの中心部のにぎわいが喪失する	201	24.7%	201
地域の伝統や文化が喪失する	92	11.3%	92
それほど影響はない	5	0.6%	5
その他	8	1.0%	8

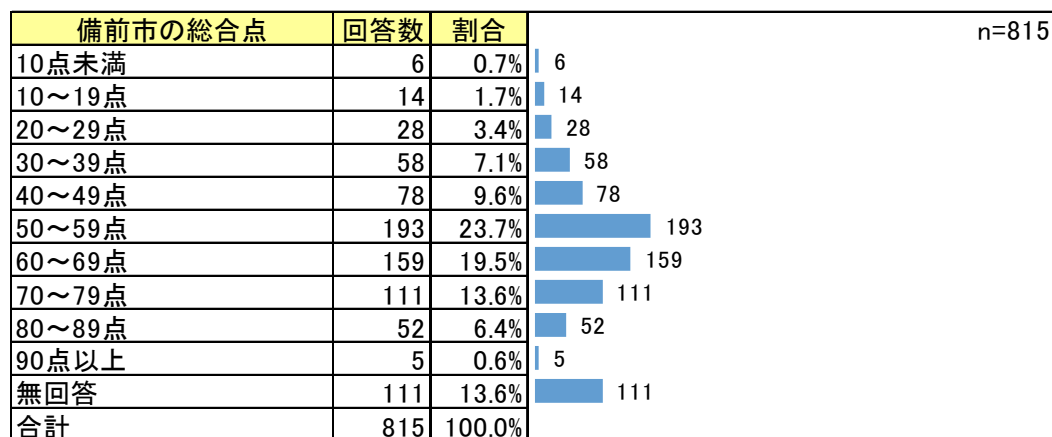
(4) 備前市が少子化に歯止めをかけるための取り組み

備前市が少子化に歯止めをかけるための取り組みに関する調査（問 4 備前市がこれから少子化に歯止めをかけるため、こういった取組に力を入れるべきだとお考えになりますか？（〇は 3 つまで））の結果、「育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境整備」が 425 件（52.1%）と最も多く、次いで、「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減」が 335 件（41.1%）となっています。

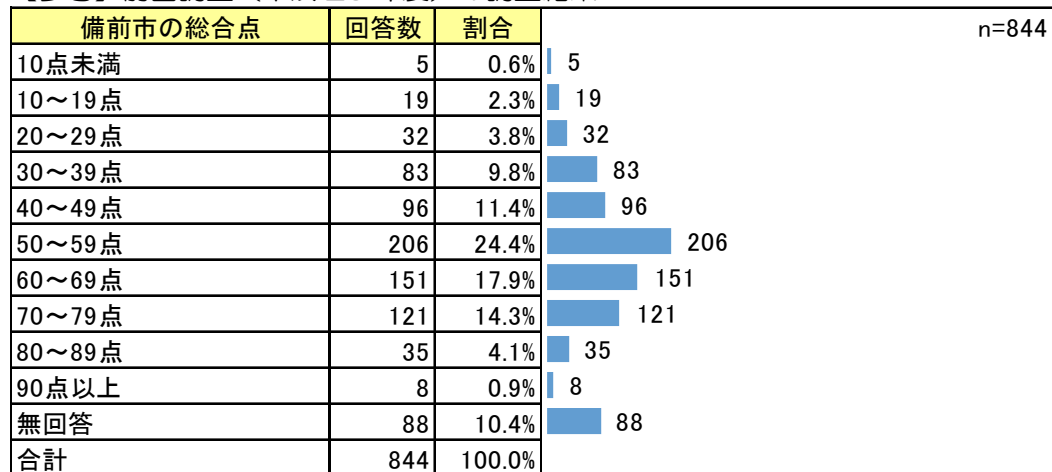
備前市が少子化に歯止めをかけるための取り組み	回答数	割合	
育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境整備	425	52.1%	425
保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減	335	41.1%	335
仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）などによる働き方の見直し	292	35.8%	292
結婚につながる出会いの機会創出の促進	196	24.0%	196
妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備	185	22.7%	185
病児・病後児保育、一時・休日保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実	162	19.9%	162
多子世帯に対する支援の充実	125	15.3%	125
生命の大切さ、家庭の大切さといった価値観の醸成	103	12.6%	103
幼児教育や少人数学級などによる教育環境の充実	95	11.7%	95
その他	49	6.0%	49

2. 備前市の総合点

備前市の総合点に関する調査（問 10 備前市全体についておうかがいします。現在、あなたにとって備前市（※まち全体）は、100 点満点で何点ですか？）の結果、「50～59 点」が 193 件（23.7%）、「60～69 点」が 159 件（19.5%）、「70～79 点」が 111 件（13.6%）となっています。（※行政（市役所）のことだけでなく、「備前市」というまちの総合点です。）



【参考】前回調査（平成 25 年度）の調査結果



3. 住みやすさ

(1) 住みよいと感じている理由

備前市の住みやすさに関する調査（問 5 あなたは、備前市が住みよと感じるのはどんなことですか？（〇は 2 つまで））の結果、「自然環境の良さ」が 392 件、「特にない」が 214 件、「水資源の豊富さ」が 161 件となっています。

備前市が住みよと感じる理由	回答数	割合		n=815
自然環境の良さ	392	48.1%	392	
水資源の豊富さ	161	19.8%	161	
近所づきあいの良さ	107	13.1%	107	
買い物の便利さ	96	11.8%	96	
道路事情の良さ	46	5.6%	46	
医療や福祉の充実	46	5.6%	46	
公共交通の便利さ	32	3.9%	32	
街並みの良さ	23	2.8%	23	
余暇が楽しめる	22	2.7%	22	
子育て支援の充実	19	2.3%	19	
教育環境の良さ	18	2.2%	18	
魅力的な職場がある	9	1.1%	9	
情報インフラの充実	3	0.4%	3	
特にない	214	26.3%	214	
その他	21	2.6%	21	

(2) 住みにくと感じている理由

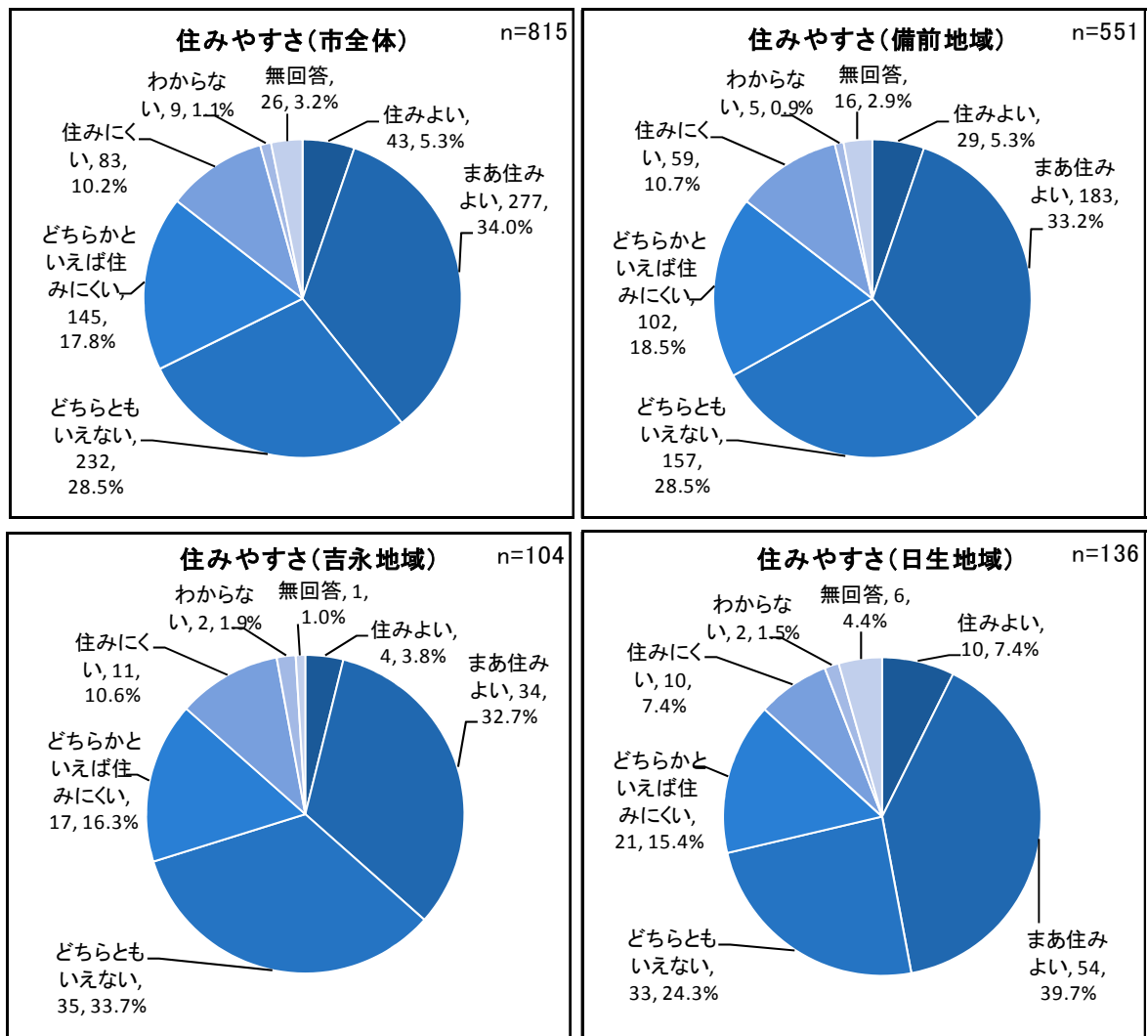
備前市の住みやすさに関する調査（問 6 あなたは、備前市が住みにくと感じるのはどんなことですか？（〇は 2 つまで））の結果、「公共交通の不便さ」が 341 件、「買物の不便さ」が 271 件、「魅力的な職場がない」が 222 件となっています。

備前市が住みにくと感じる理由	回答数	割合		n=815
公共交通の不便さ	341	41.8%	341	
買い物の不便さ	271	33.3%	271	
魅力的な職場がない	222	27.2%	222	
医療や福祉が不十分	124	15.2%	124	
余暇が楽しめない	59	7.2%	59	
道路事情の悪さ	53	6.5%	53	
近所づきあいの難しさ	45	5.5%	45	
情報インフラが不十分	36	4.4%	36	
街並みの悪さ	36	4.4%	36	
子育て支援が不十分	21	2.6%	21	
教育環境の悪さ	19	2.3%	19	
水資源の悪さ	3	0.4%	3	
自然環境の悪さ	2	0.2%	2	
特にない	73	9.0%	73	
その他	27	3.3%	27	

(3) 住みやすさ

備前市の住みやすさに関する調査（問 7 あなたは、備前市の住みやすさについてどう思われますか？）の備前市全体の結果、「住みよい」が 43 件（5.3%）、「まあ住みよい」が 277 件（34.0%）であり、住みよい（「住みよい」と「まあ住みよい」の合計）と回答した市民が 320 件（39.3%）となっています。

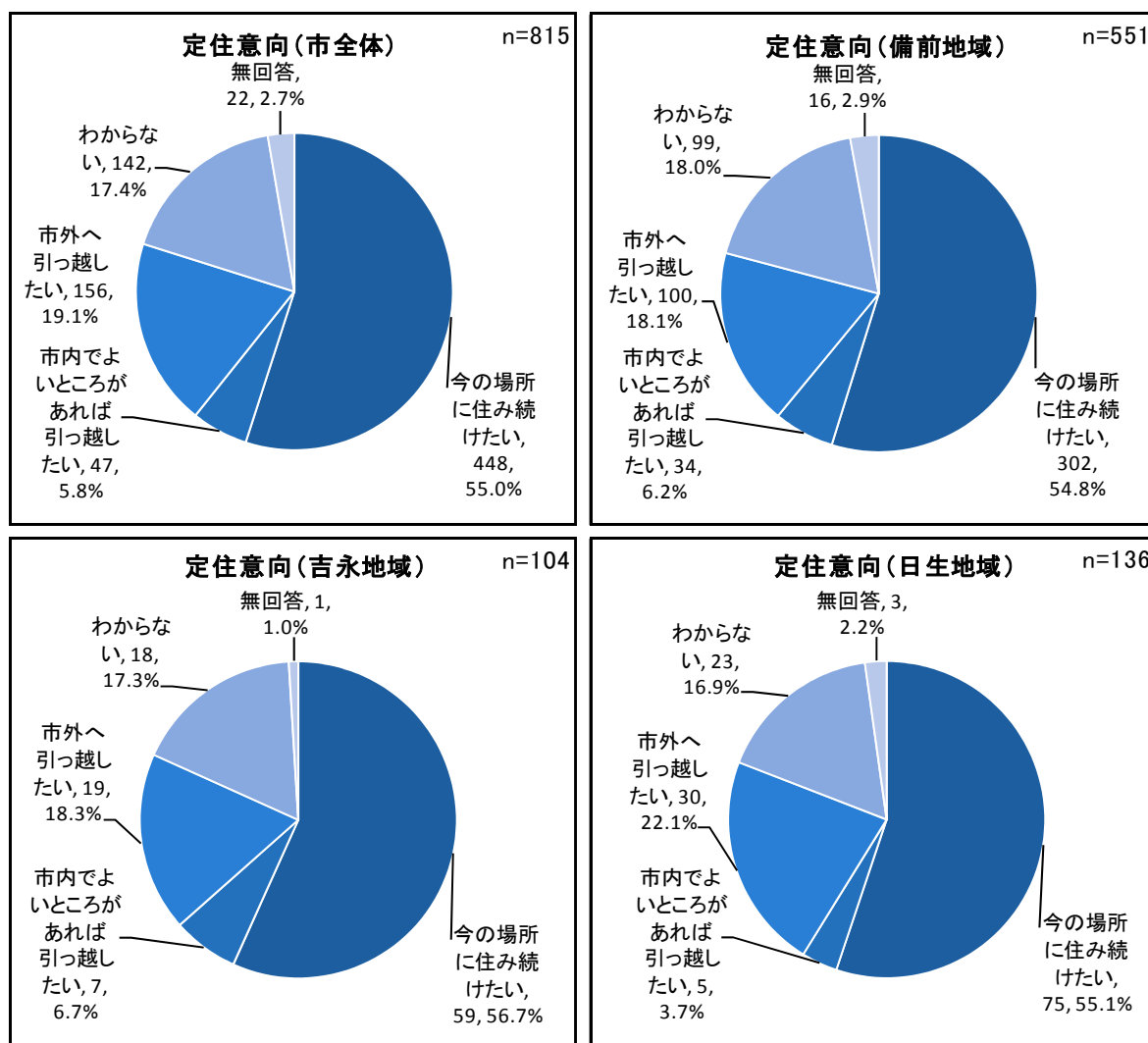
また、地域別の結果は、住みよい（「住みよい」と「まあ住みよい」の合計）と回答した市民は、備前地域が 212 件（38.5%）、吉永地域が 38 件（36.5%）、日生地域が 64 件（47.1%）、となっており、日生地域では、備前市全体と比べて、住みよい（「住みよい」と「まあ住みよい」の合計）と回答している市民の割合が高くなっています。



4. 定住意向

定住意向に関する調査（問 8 あなたは、これからも今の場所に住み続けたいと思いますか？）の備前市全体の結果、「今の場所に住み続けたい」が 448 件（55.0%）、「市内でよいところがあれば引っ越したい」が 47 件（5.8%）であり、備前市に定住したいと考えている市民は 495 件（60.7%）となっております。

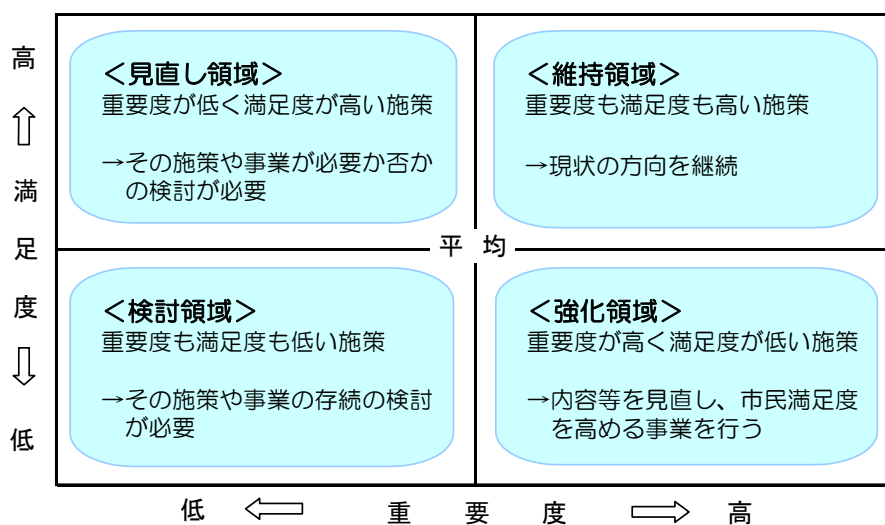
また、地域別の結果は、備前市に定住したいと考えている市民は、備前地域が 336 件（61.0%）、吉永地域が 66 件（63.4%）、日生地域が 80 件（58.8%）となっており、備前地域及び吉永地域では、備前市全体と比べて、備前市に定住したいと考えている市民の割合が高くなっています。



5. 市の取り組み（施策）の重要度・満足度の分析

市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットした散布図を次ページ以降に示しています。「強化領域」に位置する施策は、重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い、逆に「見直し領域」に位置する施策は重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高いということを表しています。また、「維持領域」に位置する施策は、重要度も満足度も平均値より高い、逆に「検討領域」に位置する施策は、重要度も満足度も平均値より低いということを表しています。

市民意識調査によるサービス改善



なお、市の取り組み（施策）の重要度及び満足度は、次のように算定しています。

【重要度及び満足度の算出方法】

重要度＝合計点数（※1）／有効回答数（999を除く）

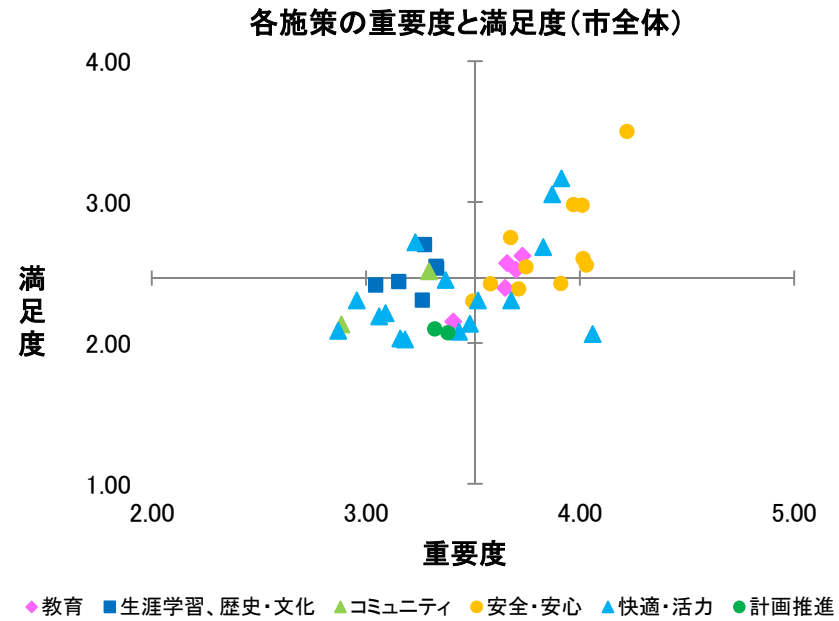
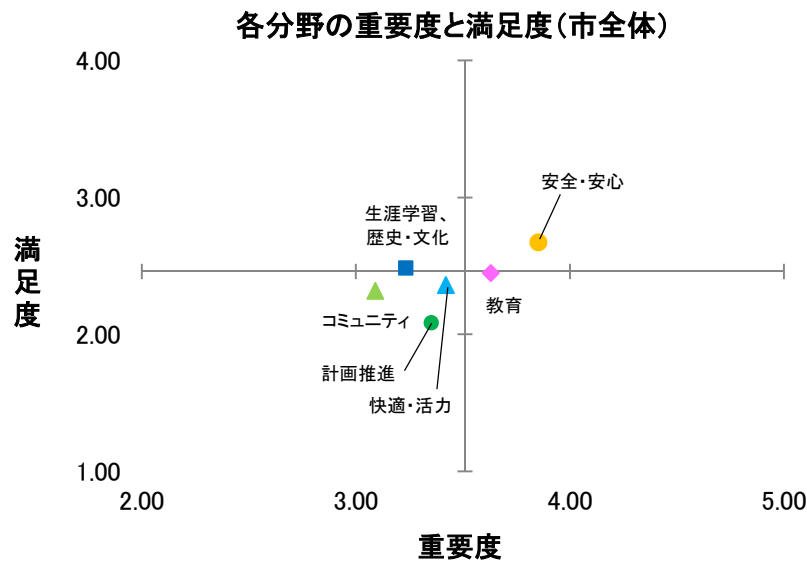
満足度＝合計点数（※2）／有効回答数（999を除く）

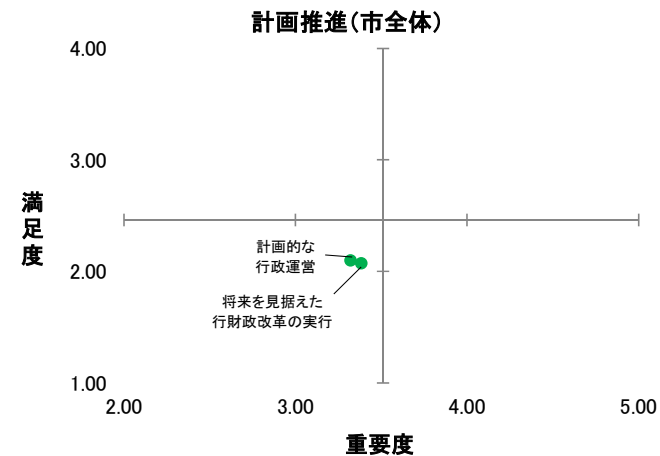
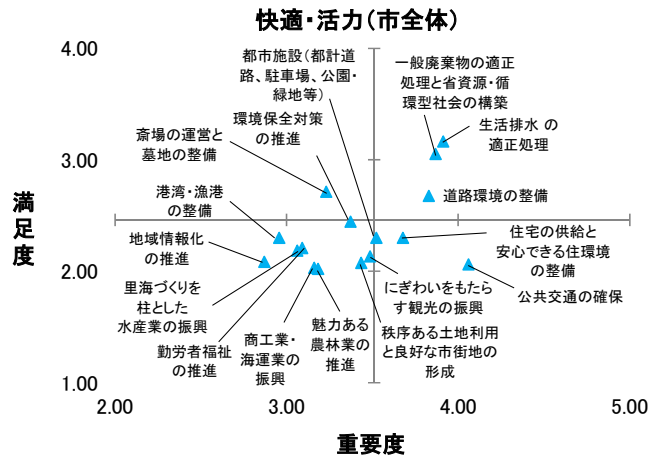
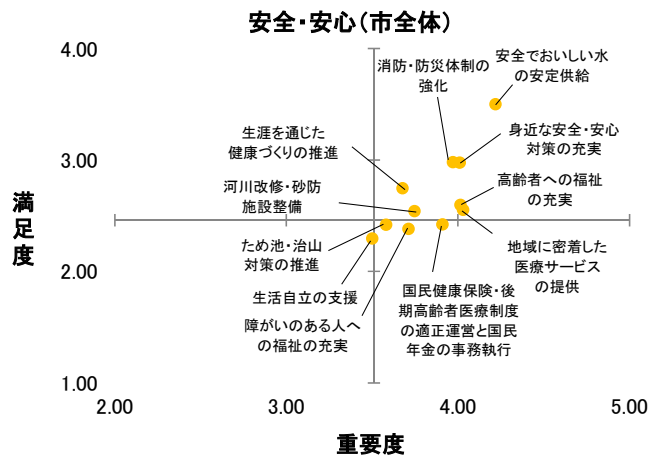
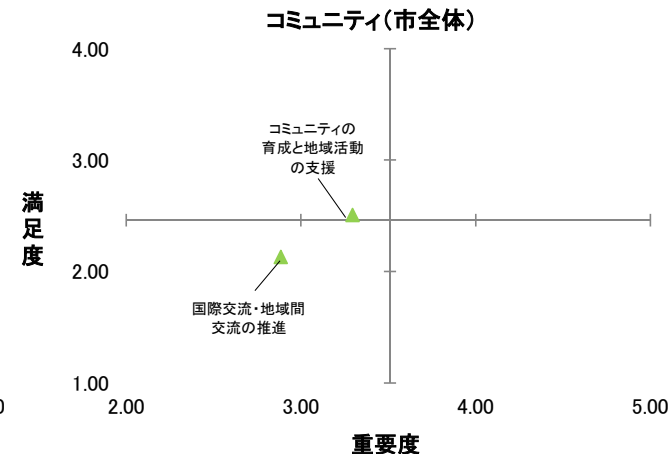
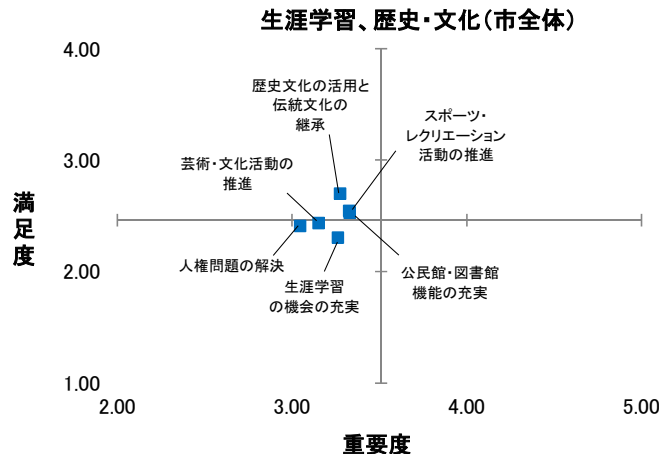
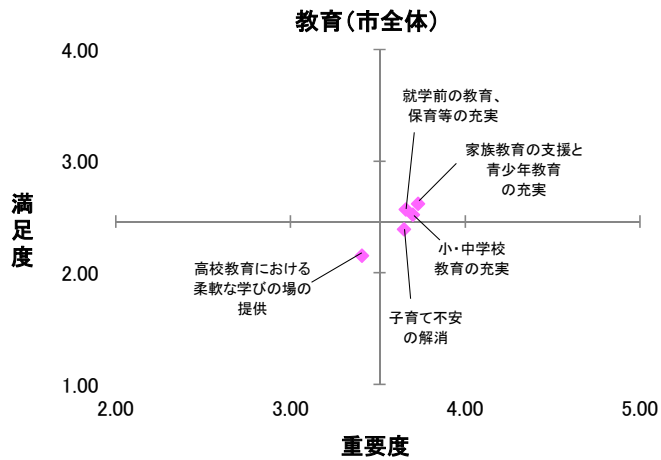
（※1）重要：5点、やや重要：4点、どちらともいえない：3点、あまり重要でない：2点、重要でない：1点、わからない：0点

（※2）満足：5点、まあ満足：4点、どちらともいえない：3点、やや不満：2点、不満：1点、わからない：0点

(1) 備前市全体の重要度・満足度

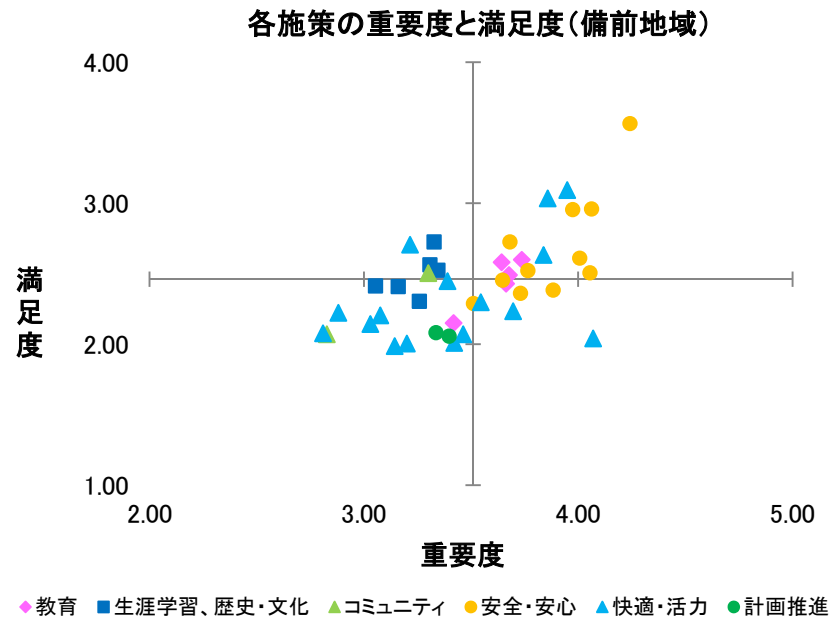
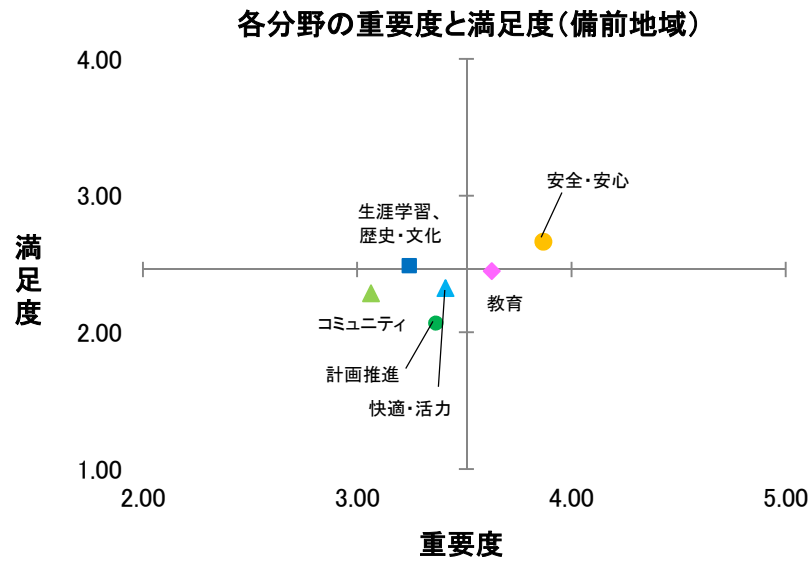
ここでは市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 3.51、満足度 2.46）を交点としたグラフに各施策の備前市全体の結果をプロットする形で示しています。備前市全体における各分野の重要度と満足度は「安全・安心」が維持領域となっています。また、分野ごとの各施策の重要度と満足度は、次ページに示しています。



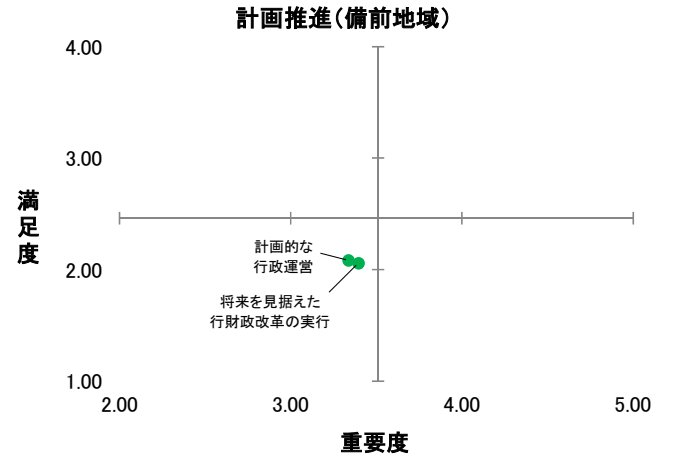
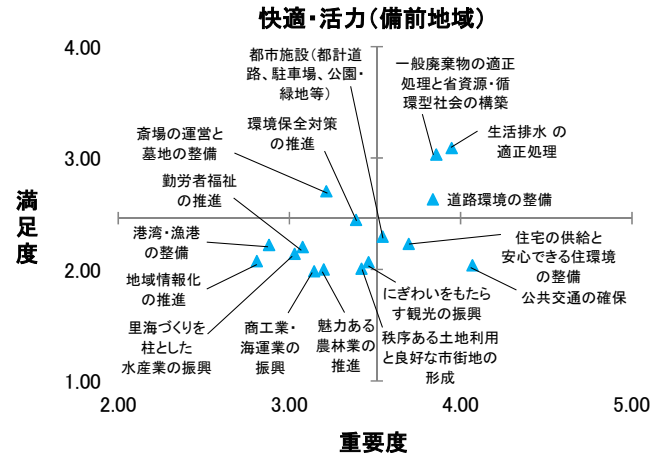
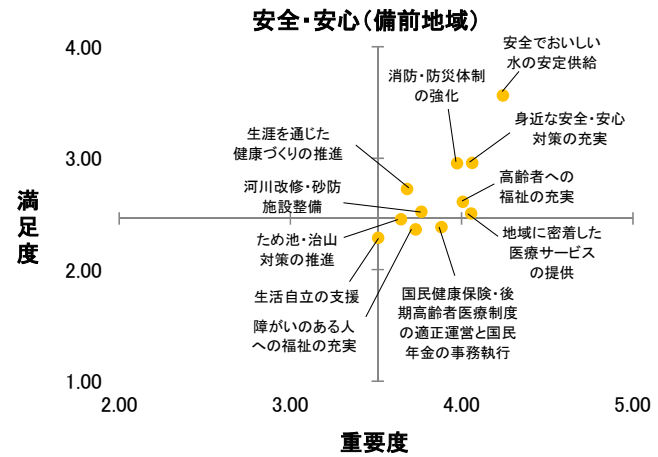
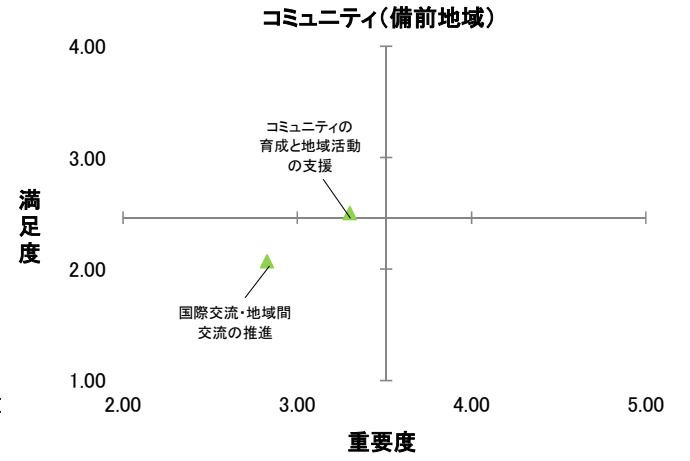
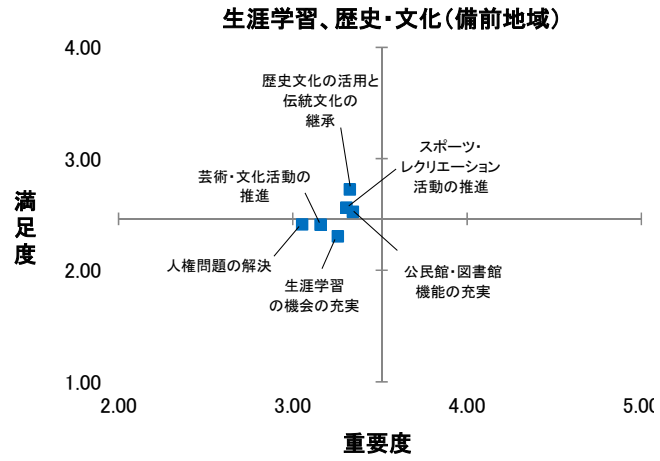
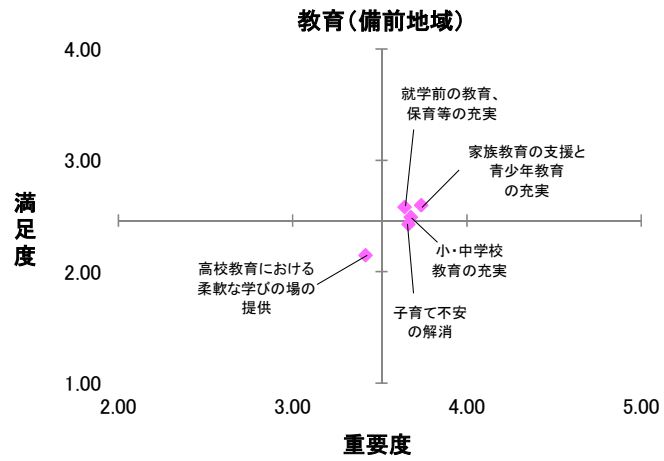


(2) 備前地域の重要度・満足度

ここでは市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 3.51、満足度 2.46）を交点としたグラフに各施策の備前地域の結果をプロットする形で示しています。備前地域における各分野の重要度と満足度は「教育」が強化領域となっています。また、分野ごとの各施策の重要度と満足度は、次ページに示しています。

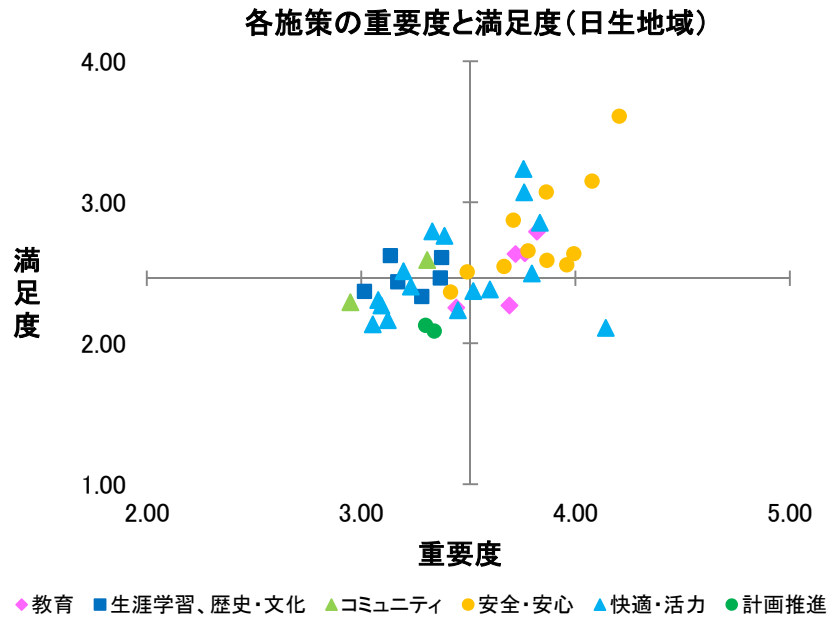
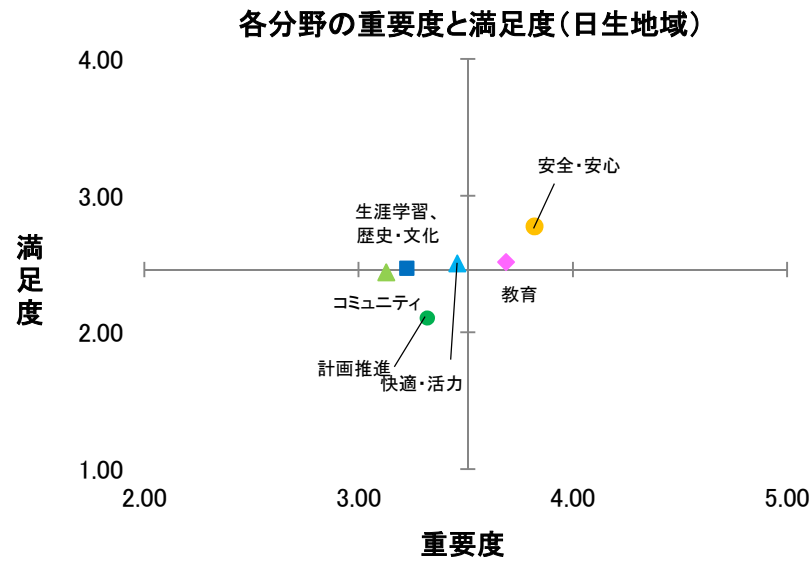


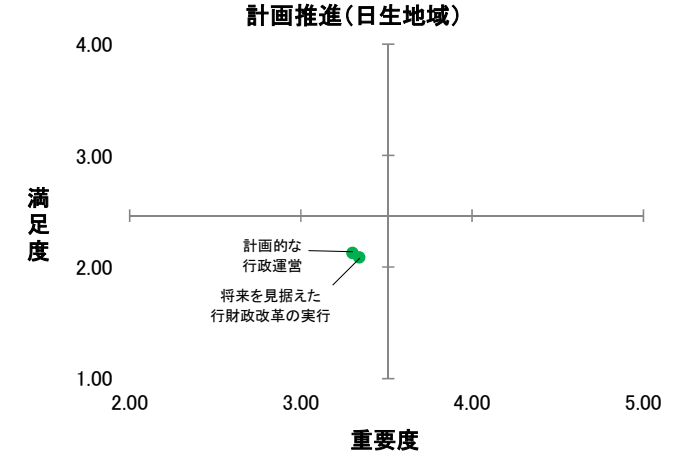
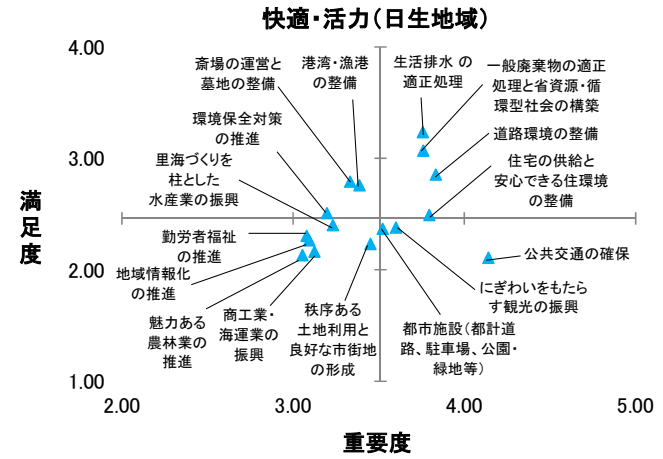
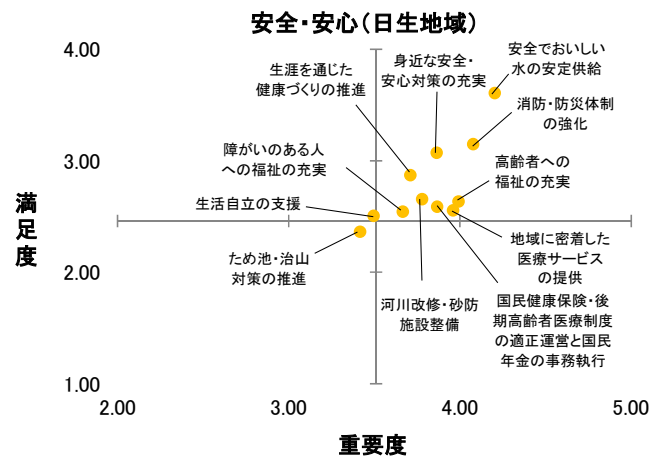
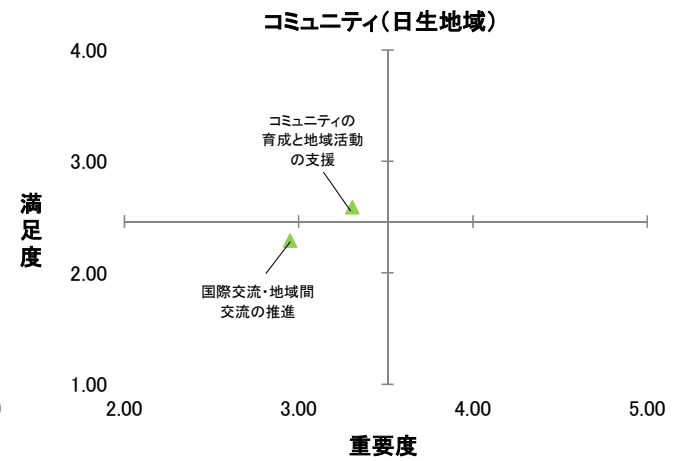
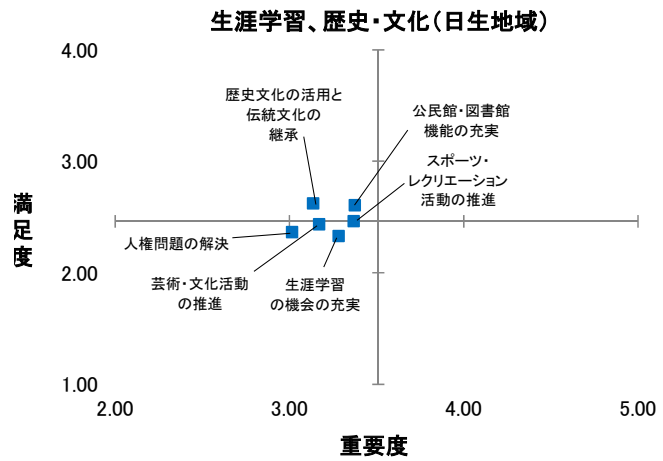
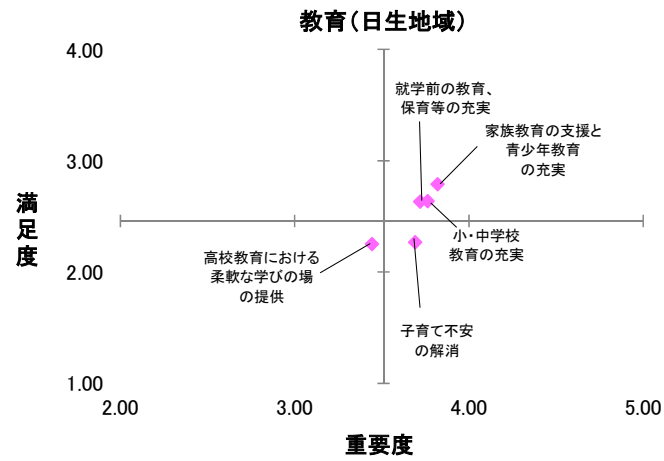
◆教育 ■生涯学習、歴史・文化 ▲コミュニティ ●安全・安心 ▲快適・活力 ●計画推進



(3) 日生地域の重要度・満足度

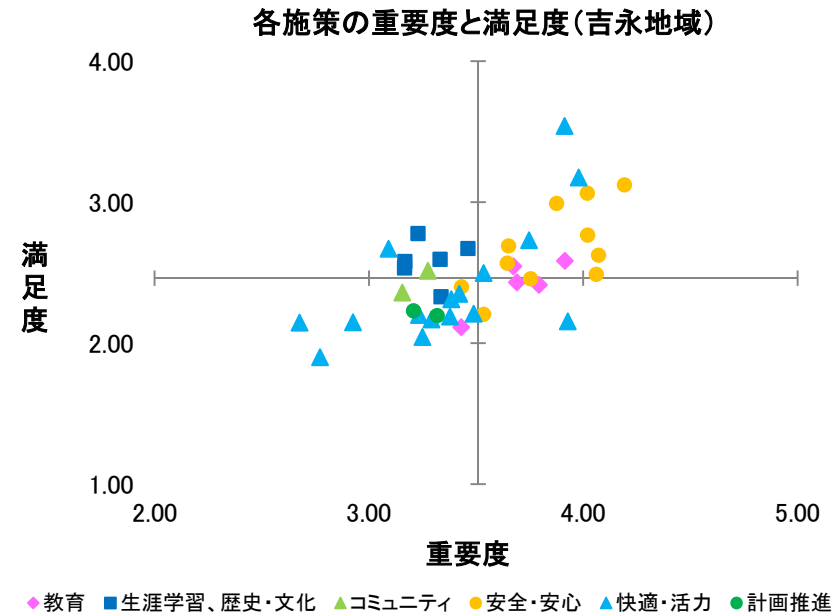
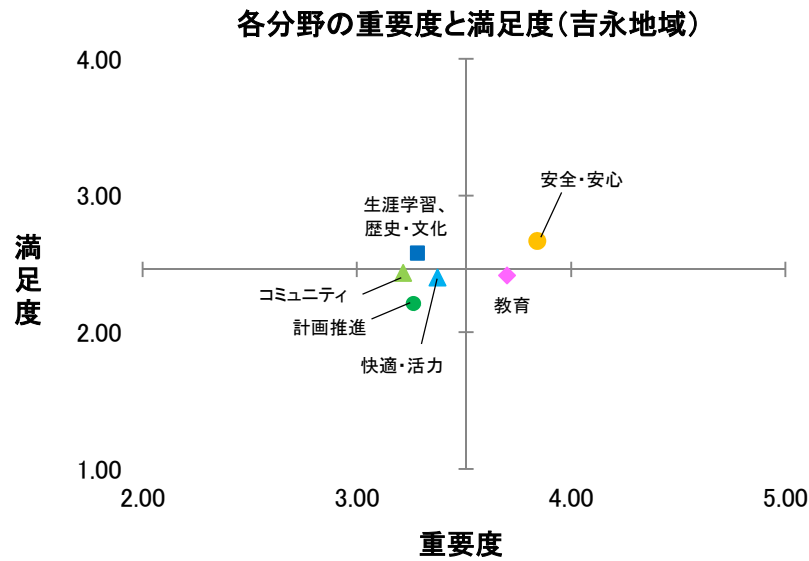
ここでは市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 3.51、満足度 2.46）を交点としたグラフに各施策の日生地域の結果をプロットする形で示しています。日生地域における各分野の重要度と満足度は強化領域の施策はありません。また、分野ごとの各施策の重要度と満足度は、次ページに示しています。

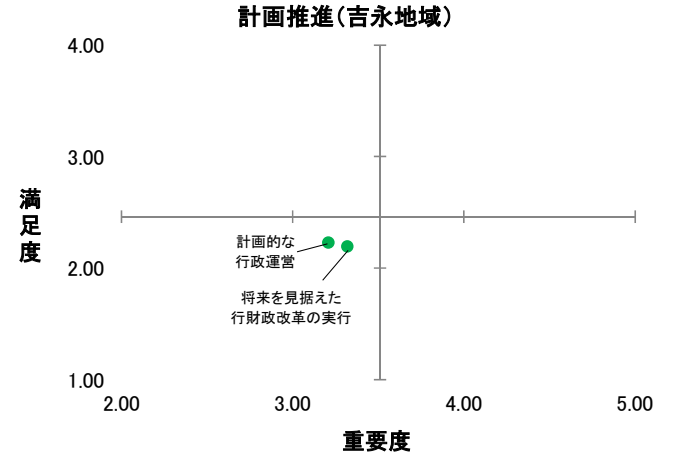
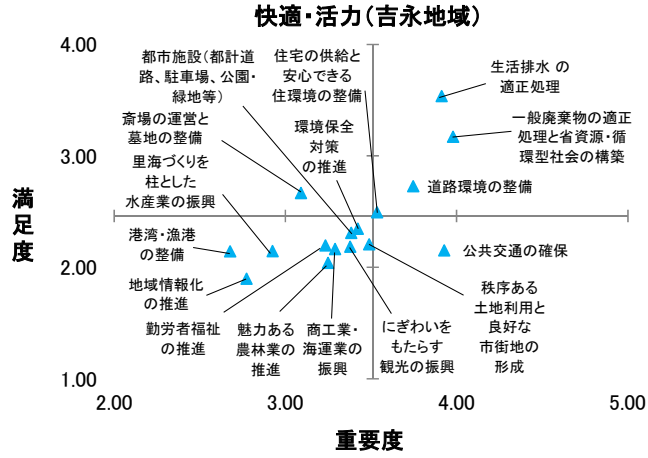
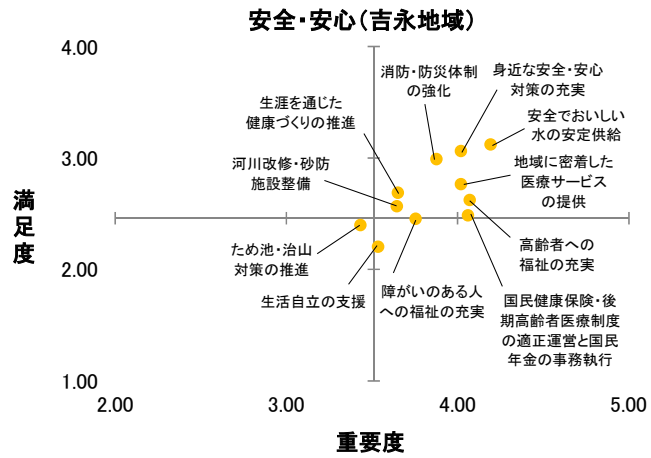
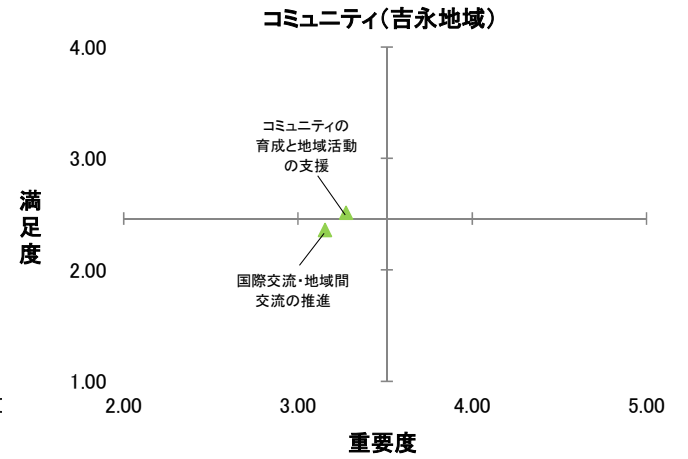
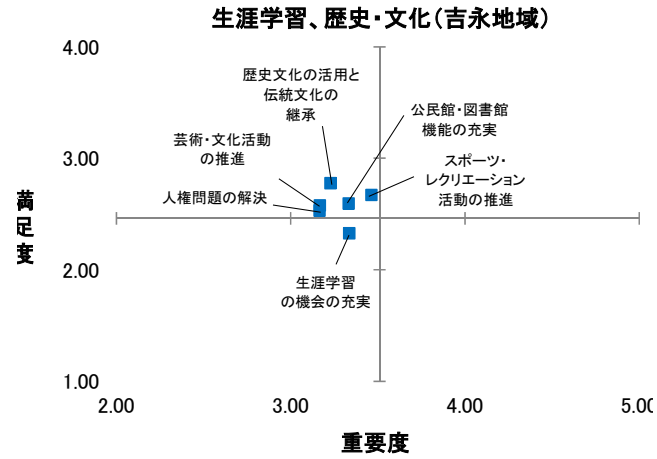
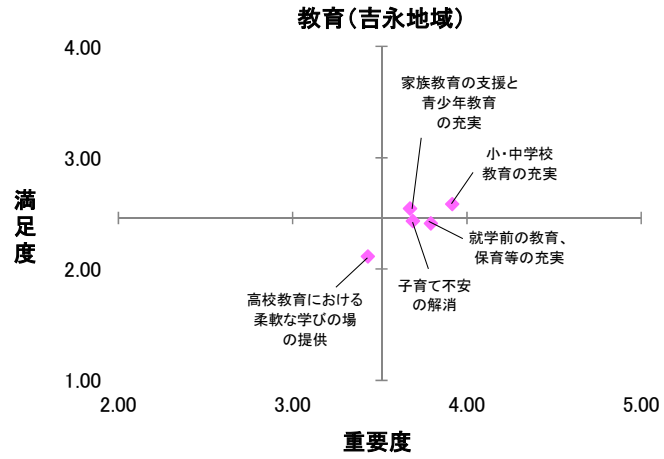




(4) 吉永地域の重要度・満足度

ここでは市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 3.51、満足度 2.46）を交点としたグラフに各施策の吉永地域の結果をプロットする形で示しています。吉永地域における各分野の重要度と満足度は「教育」が強化領域となっています。また、分野ごとの各施策の重要度と満足度は、次ページに示しています。





6. 市の取り組み（施策）の重要度の分析

(1) 備前市全体の重要度

市の取り組み（施策）の重要度に関する調査（問 9 あなたは、市（市役所）の将来のまちづくりにとって、それぞれの取り組みがどの程度重要だと思いますか？）の備前市全体の結果、「安全でおいしい水の安定供給」（重要度 4.22）ともっとも重要度が高く、次いで、「公共交通の確保」（重要度 4.06）、「地域に密着した医療サービスの提供」（重要度 4.03）となっています。

No.	施策 No.	施策(市全体)	重要度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	4.22	4.22
2	36	公共交通の確保	4.06	4.06
3	24	地域に密着した医療サービスの提供	4.03	4.03
4	21	高齢者への福祉の充実	4.02	4.02
5	15	身近な安全・安心対策の充実	4.01	4.01
6	16	消防・防災体制の強化	3.97	3.97
7	33	生活排水の適正処理	3.91	3.91
8	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	3.91	3.91
9	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.87	3.87
10	34	道路環境の整備	3.83	3.83
11	17	河川改修・砂防施設整備	3.75	3.75
12	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	3.73	3.73
13	20	障がいのある人への福祉の充実	3.71	3.71
14	3	小・中学校教育の充実	3.70	3.70
15	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	3.68	3.68
16	23	生涯を通じた健康づくりの推進	3.68	3.68
17	2	就学前の教育、保育等の充実	3.66	3.66
18	4	子育て不安の解消	3.65	3.65
19	18	ため池・治山対策の推進	3.58	3.58
20	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	3.52	3.52
21	19	生活自立の支援	3.50	3.50
22	28	にぎわいをもたらす観光の振興	3.49	3.49
23	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	3.44	3.44
24	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	3.41	3.41
25	42	将来を見据えた行財政改革の実行	3.38	3.38
26	40	環境保全対策の推進	3.37	3.37
27	7	公民館・図書館機能の充実	3.33	3.33
28	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.33	3.33
29	41	計画的な行政運営	3.32	3.32
30	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	3.30	3.30
31	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	3.28	3.28
32	6	生涯学習の機会の充実	3.26	3.26
33	39	斎場の運営と墓地の整備	3.23	3.23
34	25	魅力ある農林業の推進	3.18	3.18
35	27	商工業・海運業の振興	3.16	3.16
36	11	芸術・文化活動の推進	3.15	3.15
37	29	勤労者福祉の推進	3.09	3.09
38	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	3.06	3.06
39	9	人権問題の解決	3.05	3.05
40	35	港湾・漁港の整備	2.96	2.96
41	13	国際交流・地域間交流の推進	2.89	2.89
42	37	地域情報化の推進	2.87	2.87

(2) 備前地域の重要度

市の取り組み（施策）の重要度に関して、備前地域では、「安全でおいしい水の安定供給」（重要度 4.24）と最も重要度が高く、次いで、「公共交通の確保」（重要度 4.07）、「身近な安全・安心対策の充実」（重要度 4.06）となっています。また、「地域情報化の推進」（重要度 2.81）が最も重要度が低く、次いで、「国際交流・地域間交流の推進」（重要度 2.83）、「港湾・漁港の整備」（重要度 2.88）となっています。

No.	施策 No.	施策(備前地域)	重要度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	4.24	4.24
2	36	公共交通の確保	4.07	4.07
3	15	身近な安全・安心対策の充実	4.06	4.06
4	24	地域に密着した医療サービスの提供	4.06	4.06
5	21	高齢者への福祉の充実	4.01	4.01
6	16	消防・防災体制の強化	3.97	3.97
7	33	生活排水の適正処理	3.95	3.95
8	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	3.88	3.88
9	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.86	3.86
10	34	道路環境の整備	3.84	3.84
11	17	河川改修・砂防施設整備	3.77	3.77
12	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	3.74	3.74
13	20	障がいのある人への福祉の充実	3.73	3.73
14	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	3.70	3.70
15	23	生涯を通じた健康づくりの推進	3.68	3.68
16	3	小・中学校教育の充実	3.68	3.68
17	4	子育て不安の解消	3.66	3.66
18	18	ため池・治山対策の推進	3.65	3.65
19	2	就学前の教育、保育等の充実	3.64	3.64
20	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	3.55	3.55
21	19	生活自立の支援	3.51	3.51
22	28	にぎわいをもたらす観光の振興	3.46	3.46
23	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	3.42	3.42
24	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	3.42	3.42
25	42	将来を見据えた行財政改革の実行	3.40	3.40
26	40	環境保全対策の推進	3.39	3.39
27	7	公民館・図書館機能の充実	3.35	3.35
28	41	計画的な行政運営	3.34	3.34
29	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	3.33	3.33
30	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.31	3.31
31	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	3.30	3.30
32	6	生涯学習の機会の充実	3.26	3.26
33	39	斎場の運営と墓地の整備	3.22	3.22
34	25	魅力ある農林業の推進	3.20	3.20
35	11	芸術・文化活動の推進	3.16	3.16
36	27	商工業・海運業の振興	3.15	3.15
37	29	勤労者福祉の推進	3.08	3.08
38	9	人権問題の解決	3.05	3.05
39	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	3.03	3.03
40	35	港湾・漁港の整備	2.88	2.88
41	13	国際交流・地域間交流の推進	2.83	2.83
42	37	地域情報化の推進	2.81	2.81

(3) 日生地域の重要度

市の取り組み（施策）の重要度に関して、日生地域では、「安全でおいしい水の安定供給」（重要度 4.20）と最も重要度が高く、次いで、「公共交通の確保」（重要度 4.14）、「消防・防災体制の強化」（重要度 4.08）となっています。また、「国際交流・地域間交流の推進」（重要度 2.95）が最も重要度が低く、次いで、「人権問題の解決」（重要度 3.02）、「魅力ある農林業の推進」（重要度 3.05）となっています。

No.	施策 No.	施策(日生地域)	満足度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	4.20	4.20
2	36	公共交通の確保	4.14	4.14
3	16	消防・防災体制の強化	4.08	4.08
4	21	高齢者への福祉の充実	3.99	3.99
5	24	地域に密着した医療サービスの提供	3.96	3.96
6	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	3.87	3.87
7	15	身近な安全・安心対策の充実	3.87	3.87
8	34	道路環境の整備	3.83	3.83
9	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	3.82	3.82
10	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	3.80	3.80
11	17	河川改修・砂防施設整備	3.78	3.78
12	3	小・中学校教育の充実	3.76	3.76
13	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.76	3.76
14	33	生活排水の適正処理	3.76	3.76
15	2	就学前の教育、保育等の充実	3.72	3.72
16	23	生涯を通じた健康づくりの推進	3.71	3.71
17	4	子育て不安の解消	3.69	3.69
18	20	障がいのある人への福祉の充実	3.67	3.67
19	28	にぎわいをもたらす観光の振興	3.60	3.60
20	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	3.52	3.52
21	19	生活自立の支援	3.50	3.50
22	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	3.45	3.45
23	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	3.44	3.44
24	18	ため池・治山対策の推進	3.42	3.42
25	35	港湾・漁港の整備	3.39	3.39
26	7	公民館・図書館機能の充実	3.38	3.38
27	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.37	3.37
28	42	将来を見据えた行財政改革の実行	3.34	3.34
29	39	斎場の運営と墓地の整備	3.33	3.33
30	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	3.31	3.31
31	41	計画的な行政運営	3.30	3.30
32	6	生涯学習の機会の充実	3.28	3.28
33	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	3.23	3.23
34	40	環境保全対策の推進	3.20	3.20
35	11	芸術・文化活動の推進	3.17	3.17
36	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	3.14	3.14
37	27	商工業・海運業の振興	3.13	3.13
38	37	地域情報化の推進	3.10	3.10
39	29	勤労者福祉の推進	3.08	3.08
40	25	魅力ある農林業の推進	3.05	3.05
41	9	人権問題の解決	3.02	3.02
42	13	国際交流・地域間交流の推進	2.95	2.95

(4) 吉永地域の重要度

市の取り組み（施策）の重要度に関して、吉永地域では、「安全でおいしい水の安定供給」（重要度 4.19）と最も重要度が高く、次いで、「高齢者への福祉の充実」（重要度 4.07）、「国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行」（重要度 4.06）となっています。また、「港湾・漁港の整備」（重要度 2.68）が最も重要度が低く、次いで、「地域情報化の推進」（重要度 2.77）、「里海づくりを柱とした水産業の振興」（重要度 2.93）となっています。

No.	施策 No.	施策(吉永地域)	重要度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	4.19	4.19
2	21	高齢者への福祉の充実	4.07	4.07
3	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	4.06	4.06
4	24	地域に密着した医療サービスの提供	4.02	4.02
5	15	身近な安全・安心対策の充実	4.02	4.02
6	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.98	3.98
7	36	公共交通の確保	3.93	3.93
8	3	小・中学校教育の充実	3.92	3.92
9	33	生活排水の適正処理	3.91	3.91
10	16	消防・防災体制の強化	3.88	3.88
11	2	就学前の教育、保育等の充実	3.79	3.79
12	20	障がいのある人への福祉の充実	3.76	3.76
13	34	道路環境の整備	3.75	3.75
14	4	子育て不安の解消	3.69	3.69
15	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	3.67	3.67
16	23	生涯を通じた健康づくりの推進	3.65	3.65
17	17	河川改修・砂防施設整備	3.65	3.65
18	19	生活自立の支援	3.54	3.54
19	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	3.54	3.54
20	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	3.49	3.49
21	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.46	3.46
22	18	ため池・治山対策の推進	3.43	3.43
23	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	3.43	3.43
24	40	環境保全対策の推進	3.42	3.42
25	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	3.39	3.39
26	28	にぎわいをもたらす観光の振興	3.38	3.38
27	6	生涯学習の機会の充実	3.34	3.34
28	7	公民館・図書館機能の充実	3.33	3.33
29	42	将来を見据えた行財政改革の実行	3.32	3.32
30	27	商工業・海運業の振興	3.29	3.29
31	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	3.28	3.28
32	25	魅力ある農林業の推進	3.25	3.25
33	29	勤労者福祉の推進	3.23	3.23
34	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	3.23	3.23
35	41	計画的な行政運営	3.21	3.21
36	11	芸術・文化活動の推進	3.17	3.17
37	9	人権問題の解決	3.17	3.17
38	13	国際交流・地域間交流の推進	3.16	3.16
39	39	斎場の運営と墓地の整備	3.09	3.09
40	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.93	2.93
41	37	地域情報化の推進	2.77	2.77
42	35	港湾・漁港の整備	2.68	2.68

7. 市の取り組み（施策）の満足度の分析

(1) 備前市全体の満足度

市の取り組み（施策）の満足度に関する調査（問 9 あなたは、現状の取り組みにどの程度満足していますか？）の備前市全体の結果、「安全でおいしい水の安定供給」（満足度 3.50）であり、次いで、「生活排水の適正処理」（満足度 3.17）、「一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築」（満足度 3.05）となっています。

No.	施策 No.	施策(市全体)	満足度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	3.50	3.50
2	33	生活排水の適正処理	3.17	3.17
3	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.05	3.05
4	16	消防・防災体制の強化	2.98	2.98
5	15	身近な安全・安心対策の充実	2.97	2.97
6	23	生涯を通じた健康づくりの推進	2.75	2.75
7	39	斎場の運営と墓地の整備	2.71	2.71
8	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	2.70	2.70
9	34	道路環境の整備	2.68	2.68
10	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	2.62	2.62
11	21	高齢者への福祉の充実	2.60	2.60
12	2	就学前の教育、保育等の充実	2.57	2.57
13	24	地域に密着した医療サービスの提供	2.55	2.55
14	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.54	2.54
15	17	河川改修・砂防施設整備	2.54	2.54
16	7	公民館・図書館機能の充実	2.53	2.53
17	3	小・中学校教育の充実	2.52	2.52
18	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	2.51	2.51
19	40	環境保全対策の推進	2.44	2.44
20	11	芸術・文化活動の推進	2.43	2.43
21	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	2.42	2.42
22	18	ため池・治山対策の推進	2.42	2.42
23	9	人権問題の解決	2.41	2.41
24	4	子育て不安の解消	2.39	2.39
25	20	障がいのある人への福祉の充実	2.38	2.38
26	6	生涯学習の機会の充実	2.30	2.30
27	35	港湾・漁港の整備	2.30	2.30
28	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	2.30	2.30
29	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	2.30	2.30
30	19	生活自立の支援	2.29	2.29
31	29	勤労者福祉の推進	2.21	2.21
32	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.19	2.19
33	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	2.15	2.15
34	28	にぎわいをもたらす観光の振興	2.13	2.13
35	13	国際交流・地域間交流の推進	2.13	2.13
36	41	計画的な行政運営	2.10	2.10
37	37	地域情報化の推進	2.09	2.09
38	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	2.08	2.08
39	42	将来を見据えた行財政改革の実行	2.07	2.07
40	36	公共交通の確保	2.06	2.06
41	27	商工業・海運業の振興	2.03	2.03
42	25	魅力ある農林業の推進	2.02	2.02

(2) 備前地域の満足度

市の取り組み（施策）の満足度に関して、備前地域では、「安全でおいしい水の安定供給」（満足度 3.56）と最も満足度が高く、次いで、「生活排水の適正処理」（満足度 3.09）、「一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築」（満足度 3.03）となっています。また、「商工業・海運業の振興」（満足度 1.98）が最も満足度が低く、次いで、「魅力ある農林業の推進」（満足度 2.00）、「秩序ある土地利用と良好な市街地の形成」（満足度 2.01）となっています。

No.	施策 No.	施策(備前地域)	満足度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	3.56	3.56
2	33	生活排水の適正処理	3.09	3.09
3	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.03	3.03
4	15	身近な安全・安心対策の充実	2.96	2.96
5	16	消防・防災体制の強化	2.95	2.95
6	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	2.72	2.72
7	23	生涯を通じた健康づくりの推進	2.72	2.72
8	39	斎場の運営と墓地の整備	2.70	2.70
9	34	道路環境の整備	2.63	2.63
10	21	高齢者への福祉の充実	2.61	2.61
11	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	2.60	2.60
12	2	就学前の教育、保育等の充実	2.58	2.58
13	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.56	2.56
14	7	公民館・図書館機能の充実	2.52	2.52
15	17	河川改修・砂防施設整備	2.52	2.52
16	24	地域に密着した医療サービスの提供	2.50	2.50
17	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	2.50	2.50
18	3	小・中学校教育の充実	2.49	2.49
19	18	ため池・治山対策の推進	2.45	2.45
20	40	環境保全対策の推進	2.45	2.45
21	4	子育て不安の解消	2.43	2.43
22	9	人権問題の解決	2.41	2.41
23	11	芸術・文化活動の推進	2.41	2.41
24	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	2.38	2.38
25	20	障がいのある人への福祉の充実	2.36	2.36
26	6	生涯学習の機会の充実	2.30	2.30
27	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	2.29	2.29
28	19	生活自立の支援	2.29	2.29
29	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	2.23	2.23
30	35	港湾・漁港の整備	2.22	2.22
31	29	勤労者福祉の推進	2.20	2.20
32	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	2.15	2.15
33	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.14	2.14
34	41	計画的な行政運営	2.08	2.08
35	37	地域情報化の推進	2.08	2.08
36	13	国際交流・地域間交流の推進	2.07	2.07
37	28	にぎわいをもたらす観光の振興	2.07	2.07
38	42	将来を見据えた行財政改革の実行	2.05	2.05
39	36	公共交通の確保	2.04	2.04
40	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	2.01	2.01
41	25	魅力ある農林業の推進	2.00	2.00
42	27	商工業・海運業の振興	1.98	1.98

(3) 日生地域の満足度

市の取り組み（施策）の満足度に関して、日生地域では、「安全でおいしい水の安定供給」（満足度 3.61）ともっとも満足度が高く、次いで、「生活排水の適正処理」（満足度 3.23）、「消防・防災体制の強化」（満足度 3.15）となっています。また、「将来を見据えた行財政改革の実行」（満足度 2.09）がもっとも満足度が低く、次いで、「公共交通の確保」（満足度 2.11）、「計画的な行政運営」（満足度 2.13）となっています。

No.	施策 No.	施策(日生地域)	重要度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	3.61	3.61
2	33	生活排水の適正処理	3.23	3.23
3	16	消防・防災体制の強化	3.15	3.15
4	15	身近な安全・安心対策の充実	3.07	3.07
5	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.07	3.07
6	23	生涯を通じた健康づくりの推進	2.87	2.87
7	34	道路環境の整備	2.85	2.85
8	39	斎場の運営と墓地の整備	2.79	2.79
9	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	2.79	2.79
10	35	港湾・漁港の整備	2.76	2.76
11	17	河川改修・砂防施設整備	2.65	2.65
12	3	小・中学校教育の充実	2.63	2.63
13	21	高齢者への福祉の充実	2.63	2.63
14	2	就学前の教育、保育等の充実	2.63	2.63
15	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	2.62	2.62
16	7	公民館・図書館機能の充実	2.60	2.60
17	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	2.59	2.59
18	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	2.59	2.59
19	24	地域に密着した医療サービスの提供	2.55	2.55
20	20	障がいのある人への福祉の充実	2.54	2.54
21	40	環境保全対策の推進	2.51	2.51
22	19	生活自立の支援	2.50	2.50
23	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	2.49	2.49
24	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.46	2.46
25	11	芸術・文化活動の推進	2.43	2.43
26	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.40	2.40
27	28	にぎわいをもたらす観光の振興	2.38	2.38
28	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	2.37	2.37
29	9	人権問題の解決	2.36	2.36
30	18	ため池・治山対策の推進	2.36	2.36
31	6	生涯学習の機会の充実	2.33	2.33
32	29	勤労者福祉の推進	2.30	2.30
33	13	国際交流・地域間交流の推進	2.29	2.29
34	4	子育て不安の解消	2.27	2.27
35	37	地域情報化の推進	2.27	2.27
36	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	2.25	2.25
37	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	2.23	2.23
38	27	商工業・海運業の振興	2.16	2.16
39	25	魅力ある農林業の推進	2.13	2.13
40	41	計画的な行政運営	2.13	2.13
41	36	公共交通の確保	2.11	2.11
42	42	将来を見据えた行財政改革の実行	2.09	2.09

(4) 吉永地域の満足度

市の取り組み（施策）の満足度に関して、吉永地域では、「生活排水の適正処理」（満足度 3.54）と最も満足度が高く、次いで、「一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築」（満足度 3.17）、「安全でおいしい水の安定供給」（満足度 3.12）となっています。また、「地域情報化の推進」（満足度 2.04）が最も満足度が低く、次いで、「高校教育における柔軟な学びの場の提供」（満足度 2.11）、「港湾・漁港の整備」（満足度 2.14）となっています。






No.	施策 No.	施策(吉永地域)	満足度	
1	33	生活排水の適正処理	3.54	3.54
2	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.17	3.17
3	14	安全でおいしい水の安定供給	3.12	3.12
4	15	身近な安全・安心対策の充実	3.06	3.06
5	16	消防・防災体制の強化	2.99	2.99
6	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	2.78	2.78
7	24	地域に密着した医療サービスの提供	2.77	2.77
8	34	道路環境の整備	2.73	2.73
9	23	生涯を通じた健康づくりの推進	2.69	2.69
10	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.67	2.67
11	39	斎場の運営と墓地の整備	2.67	2.67
12	21	高齢者への福祉の充実	2.62	2.62
13	7	公民館・図書館機能の充実	2.59	2.59
14	3	小・中学校教育の充実	2.58	2.58
15	11	芸術・文化活動の推進	2.58	2.58
16	17	河川改修・砂防施設整備	2.57	2.57
17	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	2.54	2.54
18	9	人権問題の解決	2.53	2.53
19	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	2.51	2.51
20	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	2.49	2.49
21	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	2.48	2.48
22	20	障がいのある人への福祉の充実	2.45	2.45
23	4	子育て不安の解消	2.43	2.43
24	2	就学前の教育、保育等の充実	2.41	2.41
25	18	ため池・治山対策の推進	2.40	2.40
26	13	国際交流・地域間交流の推進	2.36	2.36
27	40	環境保全対策の推進	2.35	2.35
28	6	生涯学習の機会の充実	2.33	2.33
29	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	2.31	2.31
30	41	計画的な行政運営	2.23	2.23
31	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	2.21	2.21
32	19	生活自立の支援	2.20	2.20
33	29	勤労者福祉の推進	2.20	2.20
34	42	将来を見据えた行財政改革の実行	2.19	2.19
35	28	にぎわいをもたらす観光の振興	2.19	2.19
36	27	商工業・海運業の振興	2.16	2.16
37	36	公共交通の確保	2.15	2.15
38	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.15	2.15
39	35	港湾・漁港の整備	2.14	2.14
40	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	2.11	2.11
41	25	魅力ある農林業の推進	2.04	2.04
42	37	地域情報化の推進	1.90	1.90

8. 備前市での生活環境

(1) 教育

① 子どもへのあいさつや声かけに関する現状

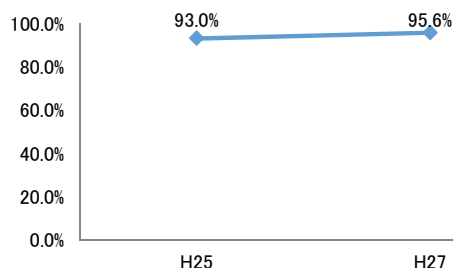
◆平成 27 年度の調査結果

子どもへのあいさつや声かけ	回答数	割合		n=815
顔見知りの子でもなくても自分から行っている	401	49.2%		401
顔見知りの子どもには自分から行っている	210	25.8%		210
子どもからあいさつされたら応えている	168	20.6%		168
あいさつ、声かけは行っていない	24	2.9%		24
無回答	12	1.5%		12
合計	815	100.0%		

子どもへのあいさつや声かけを行っている市民（「顔見知りの子でもなくても自分から行っている」「顔見知りの子どもには自分から行っている」「子どもからあいさつされたら応えている」の合計は 779 件（95.6%）であり、全体の 9 割以上を占めています。








◆過年度の推移

子どもへのあいさつや声かけを行っている市民の割合は前回調査の結果と比べて高くなっています。



② 備前市は安心して子どもを生き育てることができるかに関する現状

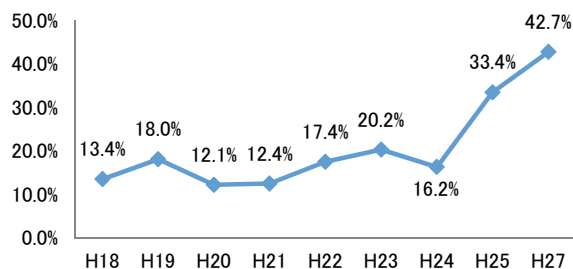
◆平成 27 年度の調査結果

安心して子どもを生き育てることができるまち	回答数	割合		n=815
そう思う	38	4.7%		38
まあそう思う	310	38.0%		310
どちらともいえない	237	29.1%		237
あまりそう思わない	125	15.3%		125
そう思わない	60	7.4%		60
わからない・意見なし	37	4.5%		37
無回答	8	1.0%		8
合計	815	100.0%		

安心して子どもを生き育てることができるまちだと感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は 348 件（42.7%）であり、全体の約 4 割を占めています。

◆過年度の推移

安心して子どもを生き育てることができるまちと感じている市民の割合は、平成 24 年度から年々増加しています。



(2) 生涯学習、歴史・文化

① 自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やグループ活動への参加に関する現状

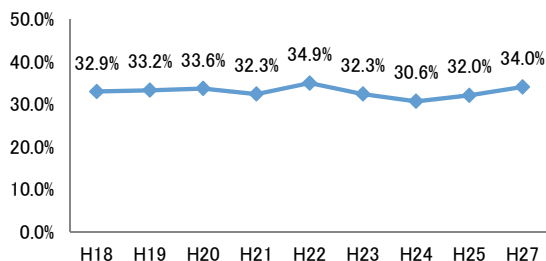
◆平成 27 年度の調査結果

自発的な学習、趣味の会やグループ活動への参加	回答数	割合		n=815
参加している	277	34.0%	277	
参加していない	528	64.8%	528	
無回答	10	1.2%	10	
合計	815	100.0%		

自発的な学習、趣味の会やグループ活動へ参加している市民は 277 件（34.0%）であり、全体の約 3 割を占めています。

◆過年度の推移

自発的な学習、趣味の会やグループ活動へ参加している市民の割合は、約 3 割程度で推移していますが、前回調査の結果と比べて高くなっています。



② 市の図書館の利用状況に関する現状

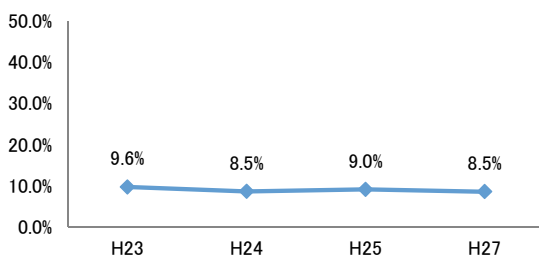
◆平成 27 年度の調査結果

市の図書館(日生・吉永分館を含む)の利用	回答数	割合		n=815
ほとんど毎日利用している	0	0.0%	0	
週1回程度利用している	10	1.2%	10	
月に2~3回程度利用している	28	3.4%	28	
1カ月に1回程度利用している	31	3.8%	31	
年数回程度利用している	118	14.5%	118	
この1年間利用していない	617	75.7%	617	
無回答	11	1.3%	11	
合計	815	100.0%		

市の図書館を月 1 回以上利用している市民（「ほとんど毎日利用している」「週 1 回程度利用している」「月に 2~3 回程度利用している」「1 カ月に 1 回程度利用している」の合計）は 69 件（8.5%）であり、全体の約 1 割を占めています。

◆過年度の推移

市の図書館を月 1 回以上利用している市民の割合は、約 1 割で推移しています。



③ スポーツ（運動）への取り組みに関する現状

◆平成 27 年度の調査結果

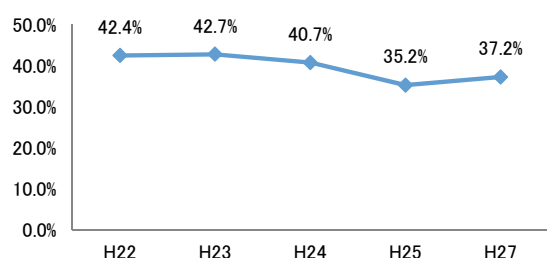
スポーツ(運動)への取り組み	回答数	割合	
週に2回以上している	180	22.1%	180
週に1回はしている	123	15.1%	123
ほとんどしていない	499	61.2%	499
無回答	13	1.6%	13
合計	815	100.0%	

n=815

週に 1 回以上運動をしている市民（「週に 2 回以上している」「週に 1 回はしている」の合計）は、303 件（37.2%）であり、全体の約 4 割を占めています。

◆過年度の推移

週に 1 回以上運動をしている市民の割合は、約 4 割で推移していますが、前回調査の結果と比べると増加しています。



④ 地域や職場で男女が対等に活躍できているかに関する現状

◆平成 27 年度の調査結果

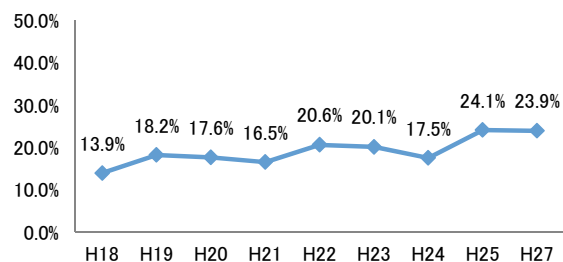
地域や職場で男女が対等に活躍できている	回答数	割合	
そう思う	35	4.3%	35
まあそう思う	160	19.6%	160
どちらともいえない	245	30.1%	245
あまりそう思わない	181	22.2%	181
そう思わない	98	12.0%	98
わからない・意見なし	88	10.8%	88
無回答	8	1.0%	8
合計	815	100.0%	

n=815

地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は 195 件（23.9%）であり、全体の約 3 割を占めています。

◆過年度の推移

地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合は、1～2 割で推移していますが、前回調査の結果と比べると減少しています。



⑤ 旧閑谷学校のことを来訪者へ説明できるかに関する現状

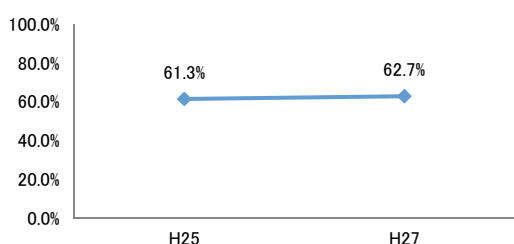
◆平成 27 年度の調査結果

旧閑谷学校のことを来訪者へ説明できる	回答数	割合		n=815
旧閑谷学校の歴史を十分理解したうえで説明できる	23	2.8%	23	
簡単な内容なら説明できる	179	22.0%	179	
少しは説明できる	309	37.9%	309	
説明できない	295	36.2%	295	
無回答	9	1.1%	9	
合計	815	100.0%		

旧閑谷学校のことを来訪者へ説明できる市民（「旧閑谷学校の歴史を十分理解したうえで説明できる」「簡単な内容なら説明できる」「少しは説明できる」の合計）は 511 件（62.7%）であり、全体の約 6 割を占めています。

◆過年度の推移

旧閑谷学校のことを来訪者へ説明できる市民の割合は、前回調査の結果と比べると増加しています。



⑥ この 1 年間に芸術・文化に接する機会に関する現状

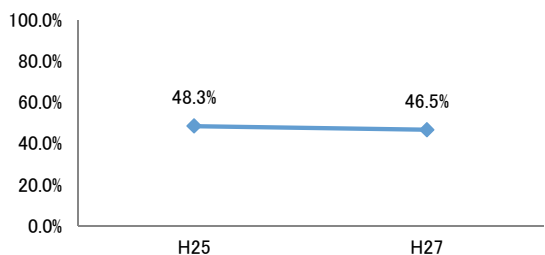
◆平成 27 年度の調査結果

この1年間に芸術・文化に接する機会	回答数	割合		n=815
美術展、舞台芸術、コンサート、映画など文化芸術作品の鑑賞を行った	325	39.9%	325	
演奏や作品の創作、囲碁、将棋、茶道、華道など自ら文化芸術活動を行った	54	6.6%	54	
鑑賞や文化芸術活動は行わなかった	406	49.8%	406	
無回答	30	3.7%	30	
合計	815	100.0%		

この 1 年間に芸術・文化に接する機会があった市民（「美術展、舞台芸術、コンサート、映画など文化芸術作品の鑑賞を行った」「演奏や作品の創作、囲碁、将棋、茶道、華道など自ら文化芸術活動を行った」の合計）は 379 件（46.5%）であり、全体の約 5 割を占めています。

◆過年度の推移

この 1 年間に芸術・文化に接する機会があった市民の割合は、前回調査の結果と比べると減少しています。



(3) コミュニティ

① この1年間におけるボランティア活動に関する現状

◆平成27年度の調査結果

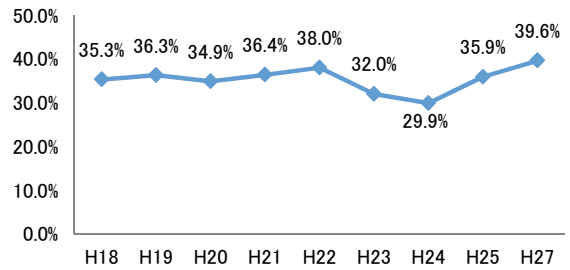
ボランティア活動への取り組み	回答数	割合	
ある	323	39.6%	323
ない	483	59.3%	483
無回答	9	1.1%	9
合計	815	100.0%	

n=815

この1年間でボランティア活動に取り組んだ市民は、323件（39.6%）であり、全体の約4割を占めています。

◆過年度の推移

この1年間でボランティア活動に取り組んだ市民の割合は、3～4割で推移していますが、平成24年度から年々増加しています。



(4) 安心・安全

① 交通マナーに関する現状

◆平成 27 年度の調査結果

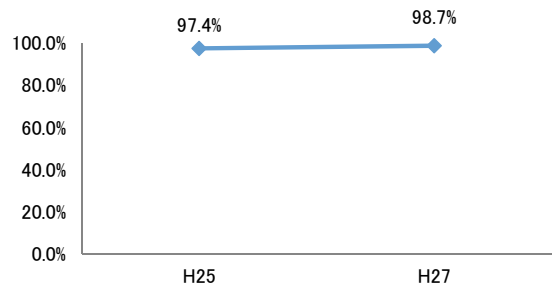
交通マナー	回答数	割合	
守っている	527	64.7%	527
だいたい守っている	277	34.0%	277
あまり守れていない	4	0.5%	4
無回答	7	0.9%	7
合計	815	100.0%	

n=815

交通マナーを守っている市民（「守っている」「だいたい守っている」の合計）は、804 件（98.7%）であり、全体の 9 割以上を占めています。

◆過年度の推移

交通マナーを守っている市民の割合は、前回調査の結果と比べると増加しています。



② 子どもや高齢者への声かけや見守りなど地域の防犯活動等への協力に関する現状

◆平成 27 年度の調査結果

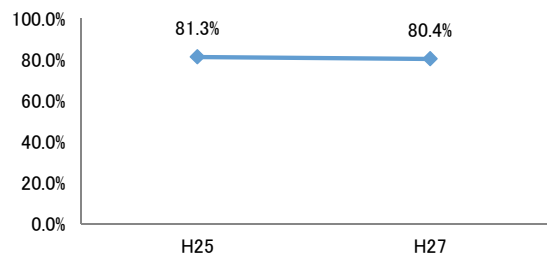
地域の防犯活動等への協力	回答数	割合	
協力している	208	25.5%	208
時々協力している(これから協力したい)	447	54.8%	447
協力していない(協力したくない)	142	17.4%	142
無回答	18	2.2%	18
合計	815	100.0%	

n=815

子どもや高齢者への声かけや見守りなど地域の防犯活動等への協力をしている市民（「協力している」「時々協力している（これから協力したい）」の合計）は 655 件（80.4%）であり、全体の約 8 割を占めています。

◆過年度の推移

子どもや高齢者への声かけや見守りなど地域の防犯活動等への協力をしている市民の割合は、前回調査の結果と比べて減少しています。



③ この1年間に消費者トラブルに関する現状

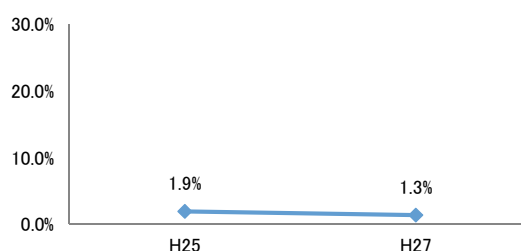
◆平成27年度の調査結果

消費者トラブル	回答数	割合		n=815
被害にあった	11	1.3%	11	
請求書等受けたが防いだ	34	4.2%	34	
トラブル等がなかった	762	93.5%	762	
無回答	8	1.0%	8	
合計	815	100.0%		

この1年間に消費者トラブルの被害にあった市民は11件（1.3%）となっています。

◆過年度の推移

この1年間に消費者トラブルの被害にあった市民の割合は、前回調査の結果と比べると減少しています。



④ 災害等に備えた備蓄品を3日分準備しているかに関する現状

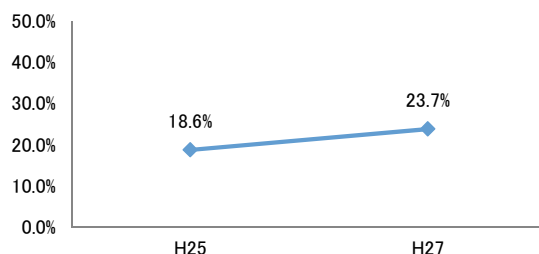
◆平成27年度の調査結果

災害等に備えた備蓄品	回答数	割合		n=815
用意している	193	23.7%	193	
用意していない	612	75.1%	612	
無回答	10	1.2%	10	
合計	815	100.0%		

災害等に備えた備蓄品を3日分準備している市民は193件（23.7%）であり、全体の約2割を占めています。

◆過年度の推移

災害等に備えた備蓄品を3日分準備している市民の割合は、前回調査の結果と比べて増加しています。



⑤ お住まいの地区の避難所に関する現状

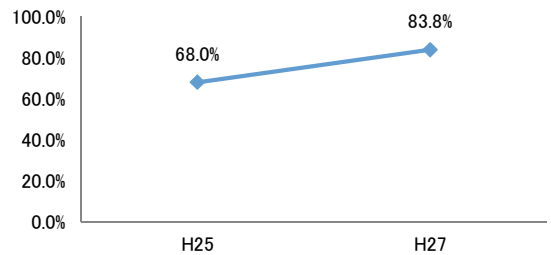
◆平成 27 年度の調査結果

避難所の場所	回答数	割合		n=815
知っている	683	83.8%		683
知らない	119	14.6%		119
無回答	13	1.6%		13
合計	815	100.0%		

お住まいの地区の避難所の場所を知っている市民は 683 件（83.8%）であり、全体の約 8 割を占めています。

◆過年度の推移

お住まいの地区の避難所の場所を知っている市民の割合は前回調査の結果と比べて増加しています。



⑥ 自分の健康に気をつけているかに関する現状

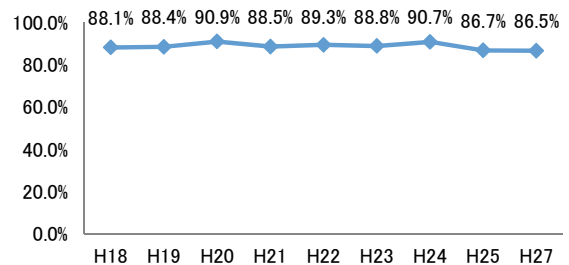
◆平成 27 年度の調査結果

自分の健康	回答数	割合		n=815
気をつけている	705	86.5%		705
気をつけていない	90	11.0%		90
無回答	20	2.5%		20
合計	815	100.0%		

自分の健康に気をつけている市民は 705 件（86.5%）であり、全体の約 9 割を占めています。

◆過年度の推移

自分の健康に気をつけている市民の割合は、約 9 割で推移していますが、前回調査の結果と比べると、減少しています。



⑦ 高齢者が安心して生活できるまちだと感じているかに関する現状

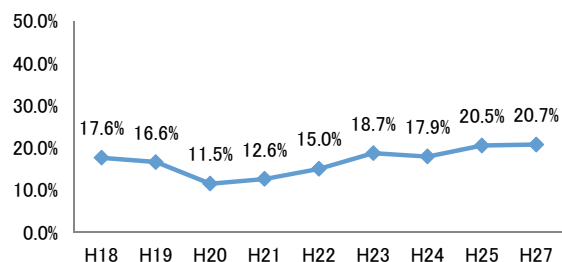
◆平成 27 年度の調査結果

高齢者が安心して生活できるまち	回答数	割合		n=815
そう思う	20	2.5%	20	
まあそう思う	149	18.3%	149	
どちらともいえない	278	34.1%	278	
あまりそう思わない	187	22.9%	187	
そう思わない	143	17.5%	143	
わからない・意見なし	28	3.4%	28	
無回答	10	1.2%	10	
合計	815	100.0%		

高齢者が安心して生活できるまちだと感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、169 件（20.7%）であり、全体の約 2 割となっています。

◆過年度の推移

高齢者が安心して生活できるまちだと感じている市民の割合は 1～2 割で推移していますが、前回調査の結果と比べると増加しています。



⑧ 市や職場、医療機関等で健康診査（血圧・尿・血液検査等）の受診に関する現状

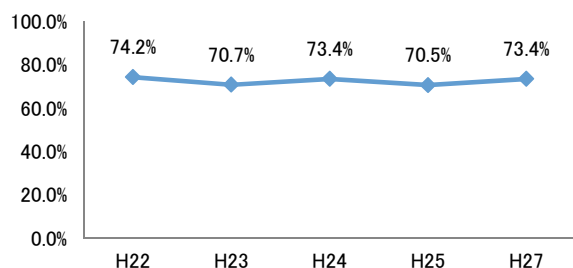
◆平成 27 年度の調査結果

健康診査の受診	回答数	割合		n=815
毎年受けている	598	73.4%	598	
2～3年に1回受けている	75	9.2%	75	
ほとんど受けていない	121	14.8%	121	
無回答	21	2.6%	21	
合計	815	100.0%		

健康診査を毎年受けている市民は 598 件（73.4%）であり、全体の約 7 割を占めています。

◆過年度の推移

健康診査を毎年受けている市民の割合は、約 7 割で推移していますが、前回調査の結果と比べると増加しています。



⑩ 喫煙に関する現状

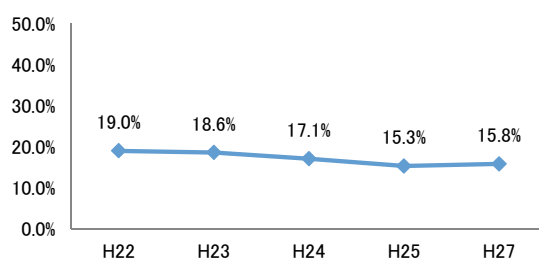
◆平成 27 年度の調査結果

喫煙	回答数	割合		n=815
吸う	129	15.8%	129	
吸わない	554	68.0%	554	
吸っていたがやめた	108	13.3%	108	
無回答	24	2.9%	24	
合計	815	100.0%		

たばこを吸っている市民は 129 件（15.8%）であり、全体の約 2 割となっています。

◆過年度の推移

たばこを吸っている市民の割合は、約 2 割で推移していますが、前回調査の結果と比べると増加しています。



(5) 快適・活力

① 公共交通の利用状況に関する現状

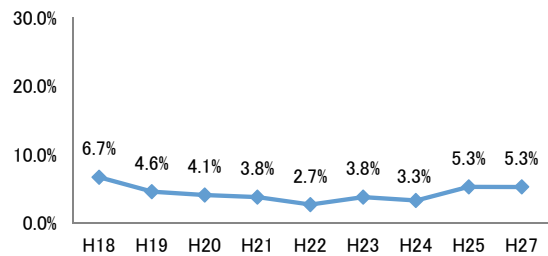
◆平成 27 年度の調査結果

公共交通の利用状況	回答数	割合		n=815
利用している	43	5.3%	■ 43	
利用していない	755	92.6%	■ 755	
無回答	17	2.1%	■ 17	
合計	815	100.0%		

週 1 回以上公共交通を利用している市民は 43 件（5.3%）となっています。

◆過年度の推移

週 1 回以上公共交通を利用している市民の割合は、1 割以下で推移していますが、前回調査の結果と同水準となっています。



② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する現状に関する現状

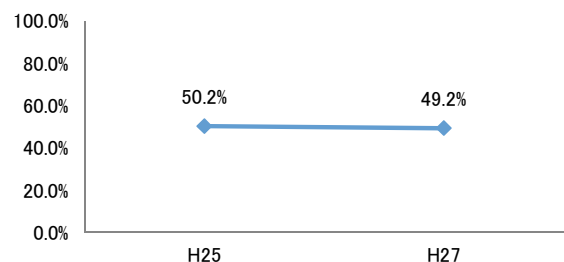
◆平成 27 年度の調査結果

仕事と生活の調和	回答数	割合		n=815
思う	119	14.6%	■ 119	
少しはとれていると思う	282	34.6%	■ 282	
思わない	174	21.3%	■ 174	
わからない	82	10.1%	■ 82	
仕事をしていない	132	16.2%	■ 132	
無回答	26	3.2%	■ 26	
合計	815	100.0%		

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれていると感じている市民（「思う」「少しはとれていると思う」の合計）は、401 件（49.2%）であり、全体の約 5 割を占めています。






◆過年度の推移

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれていると感じている市民の割合は、前回調査の結果と比べて減少しています。



③ インターネットの利用状況に関する現状

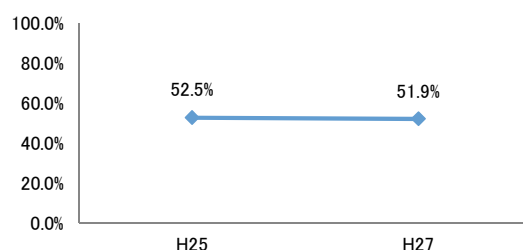
◆平成 27 年度の調査結果










インターネットの利用	回答数	割合		n=815
毎日のように利用している	245	30.1%		245
時々利用している	178	21.8%		178
ほとんど利用していない	75	9.2%		75
全く利用していない	293	36.0%		293
無回答	24	2.9%		24
合計	815	100.0%		

インターネットを利用している市民（「毎日のように利用している」「時々利用している」の合計）は 423 件（51.9%）であり、全体の約 5 割を占めています。

◆過年度の推移

インターネットを利用している市民の割合は、前回調査の結果と比べて減少しています。



インターネットの活用	回答数	割合		n=815
ホームページの閲覧	364	44.7%		364
電子メールの送受信	273	33.5%		273
地図情報サービスの利用	263	32.3%		263
ショッピング・オークション	240	29.4%		240
動画配信サービスの利用	162	19.9%		162
ソーシャルメディアの利用	123	15.1%		123
電子政府・電子自治体の利用	37	4.5%		37
その他	103	12.6%		103
無回答	1	0.1%		1
合計	1,566	-		

インターネットの活用方法は、「ホームページの閲覧」が 364 件（44.7%）、「電子メールの送受信」が 273 件（33.5%）、「地図情報サービスの利用」が 263 件（32.3%）、「ショッピング・オークション」が 240 件（29.4%）となっています。

④ 地球温暖化防止への取り組みに関する現状

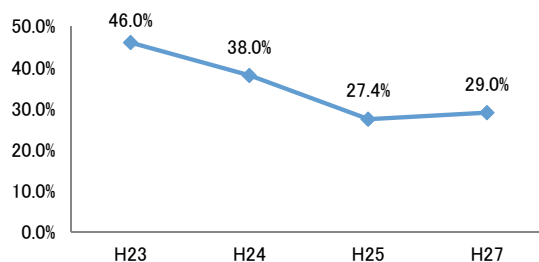
◆平成 27 年度の調査結果

地球温暖化防止への取り組み	回答数	割合		n=815
取り組んでいる	236	29.0%	236	
取り組んでいない	552	67.7%	552	
無回答	27	3.3%	27	
合計	815	100.0%		

地域温暖化防止に取り組んでいる市民は 236 件（29.0%）であり、約 3 割を占めています。

◆過年度の推移

地域温暖化防止に取り組んでいる市民の割合は、前回調査の結果と比べて増加しています。



(6) 計画推進

① 市の窓口対応に関する現状

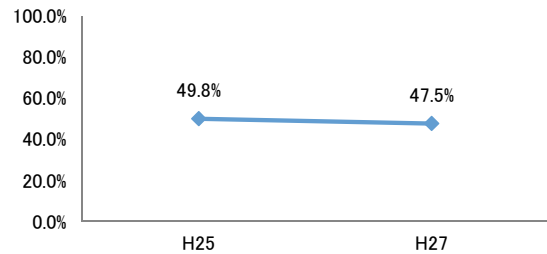
◆平成 27 年度の調査結果

市の窓口対応	回答数	割合		n=815
満足している	387	47.5%	387	
満足していない	190	23.3%	190	
この1年間、市役所(総合支所)へ行っていない	202	24.8%	202	
無回答	36	4.4%	36	
合計	815	100.0%		

市の窓口対応に満足している市民は、387 件（47.5%）であり、全体の約 5 割を占めています。

◆過年度の推移

市の窓口対応に満足している市民の割合は、前回調査の結果と比べて減少しています。



② 市の情報公開に関する現状

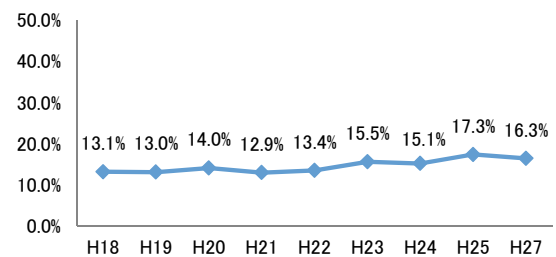
◆平成 27 年度の調査結果

市の情報公開が進んでいる	回答数	割合		n=815
そう思う	13	1.6%	13	
まあそう思う	120	14.7%	120	
どちらともいえない	281	34.5%	281	
あまりそう思わない	139	17.1%	139	
そう思わない	88	10.8%	88	
わからない・意見なし	150	18.4%	150	
無回答	24	2.9%	24	
合計	815	100.0%		

市の情報公開が進んでいると感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は 133 件（16.3%）であり、約 2 割を占めています。

◆過年度の推移

市の情報公開が進んでいると感じている市民の割合は、前回調査の結果と比べて減少しています。



③ 広報びぜんに関する現状

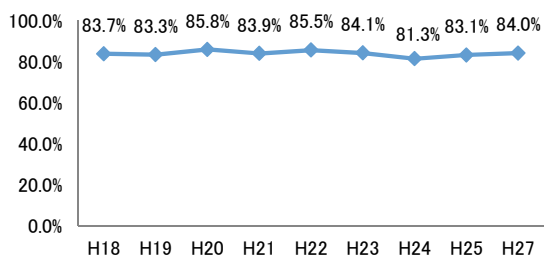
◆平成 27 年度の調査結果

広報びぜんを読んでいる	回答数	割合		n=815
読んでいる	685	84.0%	685	
読んでいない	116	14.2%	116	
無回答	14	1.7%	14	
合計	815	100.0%		

広報びぜんを読んでいる市民は 685 件（84.0%）であり、全体の約 8 割を占めています。

◆過年度の推移

広報びぜんを読んでいる市民の割合は、約 8 割で推移していますが、前回調査の結果と比べて増加しています。



④ 市の行財政改革に関する現状

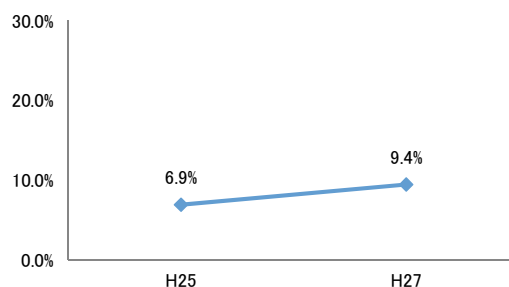
◆平成 27 年度の調査結果

市の行財政改革が進んでいる	回答数	割合		n=815
そう思う	11	1.3%	11	
まあそう思う	66	8.1%	66	
どちらともいえない	269	33.0%	269	
あまりそう思わない	186	22.8%	186	
そう思わない	126	15.5%	126	
わからない・意見なし	139	17.1%	139	
無回答	18	2.2%	18	
合計	815	100.0%		

市の行財政改革が進んでいると感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」）は 77 件（9.4%）となっています。

◆過年度の推移

市の行財政改革が進んでいると感じている市民の割合は、前回調査の結果と比べて増加しています。



⑤ 市議会議員の活動内容に関する現状

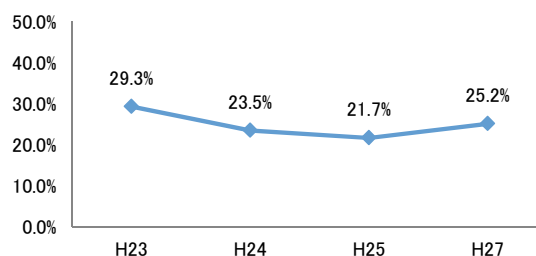
◆平成 27 年度の調査結果

市議会議員の活動内容	回答数	割合		n=815
知っている	205	25.2%	205	
知らない	430	52.8%	430	
関心がない	154	18.9%	154	
無回答	26	3.2%	26	
合計	815	100.0%		

市議会議員の活動内容を知っている市民は 205 件（25.2%）であり、全体の約 3 割を占めています。

◆過年度の推移

市議会議員の活動内容を知っている市民の割合は
前回調査の結果と比べて増加しています。



⑥ 市議会だよりに関する現状

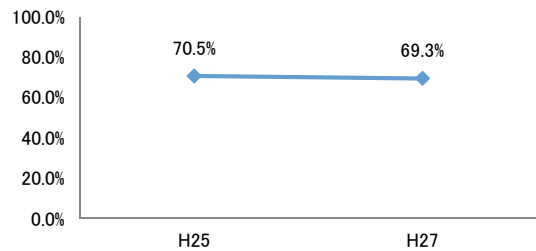
◆平成 25 年度の調査結果

市議会だより	回答数	割合		n=815
全部読んでいる	131	16.1%	131	
関心のある記事だけ読んでいる	434	53.3%	434	
読んでいない	234	28.7%	234	
無回答	16	2.0%	16	
合計	815	100.0%		

市議会だよりを読んでいる市民（「全部読んでいる」「関心のある記事だけ読んでいる」の合計）は 565 件（69.3%）であり、全体の約 7 割を占めています。

◆過年度の推移

市議会だよりを読んでいる市民の割合は、前回調査の結果と比べて減少しています。



市議会だよりを読んでいない理由	回答数	割合		n=234
市議会だよりを知らない	98	41.9%	98	
記事が難しい	44	18.8%	44	
その他	67	28.6%	67	
無回答	25	10.7%	25	
合計	234	100.0%		

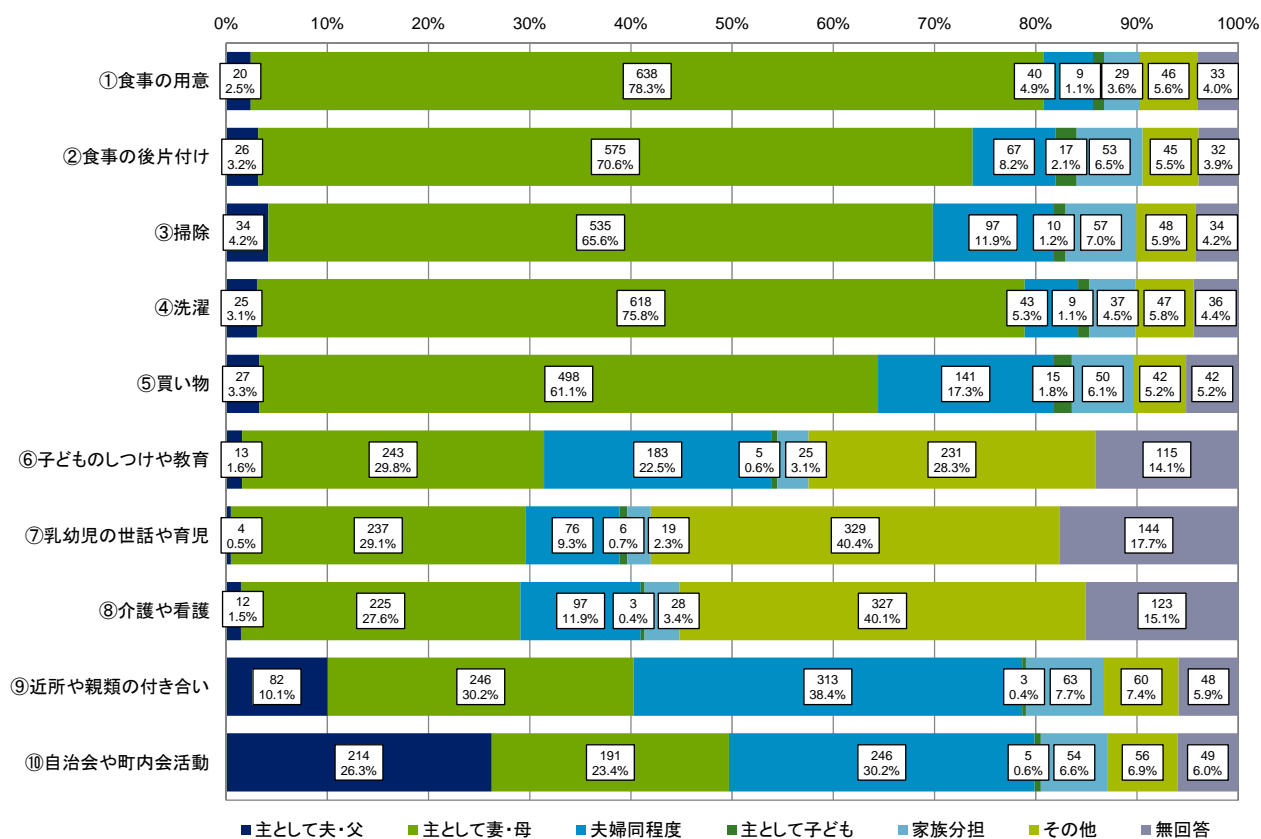
市議会だよりを読んでいない理由は、「市議会だよりを知らない」が 98 件（41.9%）、「記事が難しい」が 44 件（18.8%）となっています。

9. 男女共同参画社会の推進に関して

男女共同参画社会の推進に関する質問（問 40～問 47）の調査結果は以下のとおりです。

① 日ごろの家庭での役割分担

日ごろの家庭での役割分担に関する調査（問 40 あなたの家族は、日ごろ次のような役割を主に誰が行っていますか？）の結果、①食事の用意、②食事の後片付け、③掃除、④洗濯、⑤買い物は「主として妻・母」が役割を担っているが7割程度となっています。また、⑥子どものしつけや教育、⑧介護や看護、⑨近所や親類の付き合いは「主として妻・母」「夫婦同程度」が役割を担っているがそれぞれ3割程度となっています。⑦乳幼児の世話や育児は「主として妻・母」が役割を担っており、⑩自治会や町内会活動は「主として夫・父」「主として妻・母」「夫婦同程度」が役割を担っているが同程度となっています。



② 男性と女性の優遇

男性と女性の優遇に関する調査（問 41①あなたは、社会通念、慣習、社会制度について、男性と女性ではどちらが優遇されていると思いますか？）の結果、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 409 件（50.2%）ともっとも多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」が 101 件（12.4%）、「男女平等になっている」が 100 件（12.3%）となっています。

男女の優遇	回答数	割合		n=815
どちらかといえば男性の方が優遇されている	409	50.2%	409	
男性の方が非常に優遇されている	101	12.4%	101	
男女平等になっている	100	12.3%	100	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	25	3.1%	25	
女性の方が非常に優遇されている	19	2.3%	19	
わからない	139	17.1%	139	
無回答	22	2.7%	22	
合計	815	100.0%		

また、前問（問 41①）で「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した 510 名を対象とした、男性の方が優遇されている理由に関する調査（問 41②男性の方が優遇されている原因についてあてはまると思う番号を 3 つまで選んでください）の結果、「男女の役割分担について社会通念、慣習・しきたりなどが根強いと思うから」が 363 件（71.2%）ともっとも多く、次いで「男性のほう政策・方針の決定にかかわる役職についている人が多いと思うから」が 196 件（38.4%）、「能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが欠けていると思うから」が 145 件（28.4%）、「能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが欠けていると思うから」が 145 件（28.4%）、「女性が能力を発揮できる環境や機会が不十分だと思うから」が 134 件（26.3%）、「男女の平等について、男性の問題意識が低いと思うから」が 133 件（26.1%）、「育児や介護などを男女がともに担うためのサービスや制度がないと思うから」が 75 件（14.7%）、「専業主婦に有利な税制や社会保障制度が男女の役割分担を助長していると思うから」が 29 件（5.7%）、「男女の平等について、女性の問題意識が低いと思うから」が 25 件（4.9%）、「女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると思うから」が 21 件（4.1%）、「わからない」が 9 件（1.8%）、「その他」が 10 件（2.0%）となっています。

男性が優遇されている理由	回答数	割合		n=510
男女の役割分担について社会通念、慣習・しきたりなどが根強いと思うから	363	71.2%	363	
男性のほう政策・方針の決定にかかわる役職についている人が多いと思うから	196	38.4%	196	
能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが欠けていると思うから	145	28.4%	145	
女性が能力を発揮できる環境や機会が不十分だと思うから	134	26.3%	134	
男女の平等について、男性の問題意識が低いと思うから	133	26.1%	133	
育児や介護などを男女がともに担うためのサービスや制度がないと思うから	75	14.7%	75	
専業主婦に有利な税制や社会保障制度が男女の役割分担を助長していると思うから	29	5.7%	29	
男女の平等について、女性の問題意識が低いと思うから	25	4.9%	25	
女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると思うから	21	4.1%	21	
わからない	9	1.8%	9	
その他	10	2.0%	10	
合計	1,140	-		

③ 女性の就業

女性の就業に関する調査（問 42 あなたは、女性の就業について、どう思いますか？）の結果、「結婚・出産を機に仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び就業した方がよい」が 380 件（46.6%）ともっとも多く、次いで「子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」が 337 件（41.3%）となっています。

女性の就業	回答数	割合		n=815
結婚・出産を機に仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び就業した方がよい	380	46.6%	380	
子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい	337	41.3%	337	
女性は就業しない方がよい	13	1.6%	13	
子どもができるまでには仕事をやめる方がよい	11	1.3%	11	
その他	46	5.6%	46	
無回答	28	3.4%	28	
合計	815	100.0%		

④ 女性が役職（管理職）に登用されていない理由

女性が役職（管理職）に登用されていない理由に関する調査（問 43 あなたは、女性が政策・方針の決定にかかわる役職（管理職）にあまり登用されていない理由は何だとお考えですか？）の結果、「結婚・出産を機に仕事をやめる人が多いから」が 240 件（29.4%）ともっとも多く、次いで「男性優位の組織運営になっているから」が 210 件（25.8%）となっています。

女性が役職（管理職）に登用されない理由	回答数	割合		n=815
結婚・出産を機に仕事をやめる人が多いから	240	29.4%	240	
男性優位の組織運営になっているから	210	25.8%	210	
家庭、職場、地域における性別役割分担があるから	127	15.6%	127	
家族の支援・協力が得られないから	58	7.1%	58	
女性の能力の発揮機会が不十分だから	51	6.3%	51	
職場や会議などに女性の構成員が少ないから	28	3.4%	28	
女性側の積極性がないから	24	2.9%	24	
その他	19	2.3%	19	
無回答	58	7.1%	58	
合計	815	100.0%		

⑤ 男女の役割に対する意識

男女の役割に対する意識に関する調査（問 44 あなたは、男女の役割分担に対する意識についてどう思いますか？）の結果、「男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい」が 540 件（66.3%）と最も多く、次いで「男女の固定的な役割分担にとらわれず、女性が仕事を持ち、男性が家庭にいるのもよい」が 97 件（11.9%）となっています。

男女の役割分担に対する意識	回答数	割合	
男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい	540	66.3%	540
男女の固定的な役割分担にとらわれず、女性が仕事を持ち、男性が家庭にいるのもよい	97	11.9%	97
男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい	77	9.4%	77
男女とも仕事を持ち、家庭のことは女性が責任を持つのがよい	41	5.0%	41
その他	22	2.7%	22
無回答	38	4.7%	38
合計	815	100.0%	

⑥ 男女共同参画社会の実現のために行政がすべきこと

男女共同参画社会の実現のために行政すべきことに関する調査（問 45 あなたは、男女共同参画社会の実現のために行政がすべきことは何だと思いませんか？（〇は 3 つまで））の結果、「病人や高齢者などの介護等に対する社会的サービスの充実」が 411 件（50.4%）と最も多く、次いで「保育サービスや学童保育など仕事と子育ての両立支援の充実」が 362 件（44.4%）、「出産休暇や育児休業などの制度の充実」が 282 件（34.6%）となっています。

男女共同参画社会の実現のために行政がすべきこと	回答数	割合	
病人や高齢者などの介護等に対する社会的サービスの充実	411	50.4%	411
保育サービスや学童保育など仕事と子育ての両立支援の充実	362	44.4%	362
出産休暇や育児休業などの制度の充実	282	34.6%	282
学校教育、社会教育などの場での男女の平等と相互の理解や協力についての学習の充実	180	22.1%	180
職場における男女平等な取り扱い等の周知徹底	160	19.6%	160
女性の就労機会の確保と就業教育や訓練の充実	107	13.1%	107
町内会など、地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進	98	12.0%	98
女性の政策決定の場への積極的登用	96	11.8%	96
リーダー養成など女性の人材育成の推進	67	8.2%	67
男女共同参画社会にかかわる情報の収集・提供	39	4.8%	39
広報紙、講演会などによる男女の平等や慣習の見直しなどの啓発	39	4.8%	39
女性に対する暴力の防止及び被害者の支援促進	39	4.8%	39
その他	17	2.1%	17
合計	1,897	-	

⑦ DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為

DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為に関する調査（問 46①あなたは、今まで DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為を受けたことがありますか？）の結果、「いいえ」が 654 件（80.2%）、「はい」が 50 件（6.1%）となっています。

DVと思われる行為を受けたことがある	回答数	割合		n=815
はい	50	6.1%	50	
いいえ	654	80.2%	654	
わからない	83	10.2%	83	
無回答	28	3.4%	28	
合計	815	100.0%		

また、前問（問 46①）で「はい」と回答した 50 名を対象とした、DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行動の種類に関する調査（問 46②あなたは、次のどの行為を受けましたか？あてはまる番号すべてに○）の結果、「暴言を吐く、脅す、無視するなどの精神的暴力を受けた」が 35 件（70.0%）と最も多く、次いで「殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力を受けた」が 28 件（56.0%）となっています。

受けたことがあるDVと思われる行為	回答数	割合		n=50
暴言を吐く、脅す、無視するなどの精神的暴力を受けた	35	70.0%	35	
殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力を受けた	28	56.0%	28	
生活費を入れてくれない、外で働くことを妨げるなどの経済的暴力を受けた	13	26.0%	13	
子どもの前ではかにされたり、責められたりされた（子どもを巻き込んだ暴力）	13	26.0%	13	
外出を制限する、携帯電話・スマートフォンをチェックする、友人、親戚との付き合いを禁止するなどの社会的暴力を受けた	8	16.0%	8	
見たくないポルノビデオを見せられたり、いやがっているのに性的行為を強要されたり、避妊に協力してくれないなどの性的暴力を受けた	6	12.0%	6	
その他	3	6.0%	3	
合計	106	—		

さらに、前々問（問 46①）で「はい」と回答した 50 名を対象とした、DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行動を受けたときの相談先に関する調査（問 46③ DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為を受けたとき、どこへ相談しましたか？あてはまる番号すべてに○）の結果、「どこへも相談しなかった」が 21 件（42.0%）、「親族」が 14 件（28.0%）、「友人・知人」が 13 件（26.0%）となっています。

DVと思われる行為を受けたときの相談先	回答数	割合		n=50
どこへも相談しなかった	21	42.0%	21	
親族	14	28.0%	14	
友人・知人	13	26.0%	13	
警察	3	6.0%	3	
市や県(女性相談所、男女共同参画推進センターなどの相談窓口)	3	6.0%	3	
民生委員・児童委員	1	2.0%	1	
医師・カウンセラーなど	1	2.0%	1	
民間の相談機関	1	2.0%	1	
弁護士	0	0.0%	0	
人権擁護委員	0	0.0%	0	
その他	2	4.0%	2	
合計	59	—		

⑧ DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすために必要な支援や対策

DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすために必要な支援や対策に関する調査（問 47 あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすには、どのような支援や対策が必要だと思いますか？（〇は3つまで）の結果、「DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発」が310件（38.0%）、「被害者への相談窓口をふやしたり、相談窓口の情報提供」が221件（27.1%）、「被害者への身の安全を保障できる場所（シェルター等）の提供」が207件（25.4%）となっています。

DVをなくすために必要な支援や対策	回答数	割合		n=815
DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発	310	38.0%	310	
被害者への相談窓口をふやしたり、相談窓口の情報提供	221	27.1%	221	
被害者への身の安全を保障できる場所（シェルター等）の提供	207	25.4%	207	
被害者への弁護士、警察、裁判所などによる法的援助	198	24.3%	198	
加害者への罰則の強化	154	18.9%	154	
お互いの人権を大切にす教育の充実	125	15.3%	125	
加害者への指導やカウンセリング	125	15.3%	125	
被害者支援サポーターとして身近に相談できる人を養成する	98	12.0%	98	
被害者への医師、カウンセラーなどの医療・心理的援助	93	11.4%	93	
被害者への経済的な自立に向けた支援	92	11.3%	92	
被害者に対する周囲の理解と協力	83	10.2%	83	
被害者への民間支援グループなどによる援助	28	3.4%	28	
暴力等を防止するためのセミナー、イベントなどの充実	19	2.3%	19	
その他	12	1.5%	12	
合計	1,765	—		

10. 自由意見

(1) 男女共同参画

No.	性別	年代	居住地	自由意見
1	男性	20歳代	吉永地域	参画したいと思わない女性もいると思うので、どちらの選択でも不利にならないように
2	男性	30歳代	備前地域	労働時間を考えることが大切ではないか。
3	男性	30歳代	備前地域	市でも家庭生活における活動と他の活動の両立や、社会における制度又は慣行において配慮や政策等の立案及び決定への協働参画を、市の皆さんと少しずつ協力しながら、コツコツと積み上げて作って行くべきだと思います。やはり少しずつ市の皆さんが努力していき、皆で協力していき、住みやすい男女の街をつくるべきだと思います。
4	男性	30歳代	吉永地域	我が家は幼い子どもがいますが、妻は岡山市へ通勤しており、子どもは保育園に通っています。子どもの体調が悪いときは、妻が仕事を休んでいます（私が休めないため）。備前市内に病児保育の施設があればとても助かります。子どもの体調が悪い時くらい親が側にいるべきという考えも一理ありますが、実際長期に渡る場合は仕事に影響を及ぼしかねません。備前市内の方は祖父母が近くに住んでいる人が多そうですが、子育てに関して祖父母の協力が得られない人も中には大勢います。例えば、市民病院（備前病院、日生病院、吉永病院）と提携をして、病児保育に取り組むのはどうでしょうか。
5	男性	50歳代	日生地域	劇団「虹」をよく理解してもらおう。（機会を増やす）
6	男性	60歳代	備前地域	男女共同参画には賛成ですが、男女平等は出来ない。体力が平等は無理です。
7	男性	60歳代	不明	国会、市町村議会でも女性議員の割合が少ない。共産党が一番女性議員の割合が多い。これを国レベルで正すことが必要。 議員では女性がいるのに、村の役所は、いまだにほとんど男性が占めている。村ほど体質が古いところはない。村役員に女性を選出することから始めたい。
8	男性	60歳代	吉永地域	必ず男女混合の組織運営を行い、必ず全員のコメントの意識調査を行う。そして、公表する。
9	男性	60歳代	吉永地域	労働スタイルの変革、男女共に8時間／1日労働を厳守することによって、家庭のスタイルも固定化出来るので、お互いに参画しやすくなる。残業をしない！残業をさせない！を徹底する。
10	男性	70歳代	備前地域	高齢者への買物、病院への公共機関の充実を

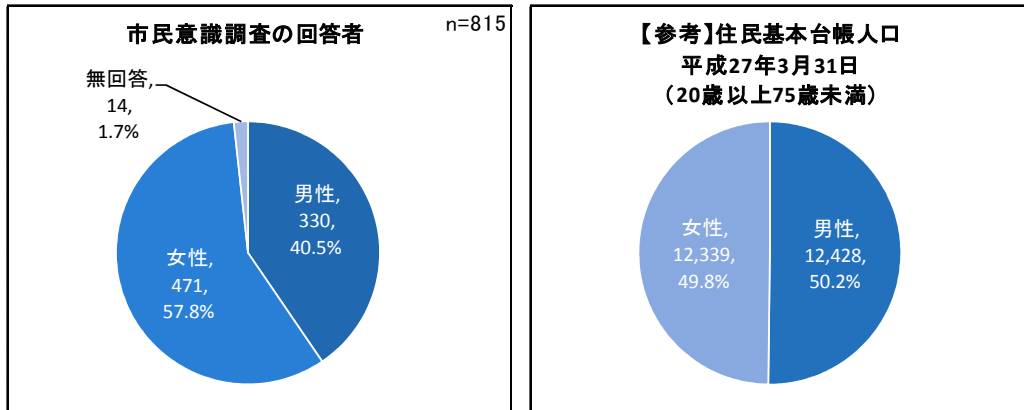
No.	性別	年代	居住地	自由意見
11	男性	70歳代	備前地域	介護施設、子供の保育施設などの充実が必要だと思う。
12	男性	70歳代	備前地域	人口減少が進んでいく時代になり、男女問わず一人一人が自立して、責任を持って行動することが必要です。
13	男性	70歳代	日生地域	それぞれが自己の立場のみ主張するばかりでなく、相互の事をよく理解するよう、人間として人格尊重な立場から、考えた行動をする事が大切かと考えます。
14	女性	20歳代	備前地域	どんなに頑張っても、女は男に力では勝てませんので、男女が平等になることは難しいかもしれないと思っていましたが、こういった取り組みを続けていければ、男性も意識して変わっていくだろうと思います。内容も大事ですが、呼びかけや宣伝などをやり続ける事が大事だと思います。小学生や中学生達、まだ大人ではない、これからの子にこれを伝えるべきだと思います。道徳の授業や講師をお呼びしたりと学校でも取り扱って欲しいなと思いました。
15	女性	20歳代	備前地域	「女性が〇〇するのがよい」という選択肢が目についた。基本的に、女性でも男性でも、自分がどのようにしたいのか、自分の家庭がどうあって欲しいか、を考えて、相談して決めることだと思うので、とても答えづらい。男女共同参画と言いながら、すでにアンケート自体が、女性は家庭という固定観念の元に作られているように感じた。
16	女性	30歳代	備前地域	女性は、一般家庭に入ると、仕事にまた就くことは、結構難しい。子供や家庭の事情でどうしても休まないといけないので、責任を持って仕事をしているつもりでも、大事な役職につくのは大変だと思う。そこで、どうしても男女の差別を受けると思う。仕方がないことなので、就労時間や休暇など、とりやすい行政や職場も制度に取り組んでもらえたらうれしいです。
17	女性	40歳代	吉永地域	「具体的な理想像」を描くことが難しい現時点では、啓発とか情報発信といったことは無理だし、虚しい。まずは、「現実の声」を拾い、「要望」を集約するのではなく、ひとつひとつに対応して欲しい。今なら、そんなにたくさんの施策が必要という事にはならないと思うから。国から、予算とともに下りてくる方針の消化だけでは何も変わらない。
18	女性	50歳代	備前地域	男性と女性、違って当たり前、男性の良さ、女性の良さをお互いに理解し、社会、家庭を築いていけばよい。女性が家事をしながら、仕事するには、家庭の協力が必須。お互い「思いやる気持ち」さえあれば、「男女平等」と掲げなくても、世の中うまくいくのでは・・・。

No.	性別	年代	居住地	自由意見
19	女性	50歳代	備前地域	若い男女のドメスティックは未熟としか見えなかったが、最近、その子供の育った環境がとても大事と感じています。これから、ますます家庭が複雑になってくるので、増えるのではと感じますが、女性も仕事を持ち、独立した生活をする事と、子供に見てもらふ事で、また家族がサポートすることを学ぶことで減るのか?とも感じる。
20	女性	50歳代	備前地域	男らしさ、女らしさを忘れる事のないようにお願いします。
21	女性	50歳代	日生地域	町内会等身近で理解していく事が大切だと思います。「人の目が気にならないように」
22	女性	50歳代	日生地域	「男女共同参画社会」という言い方を「男女平等社会」という言い方に備前市は取り組んでもらいたい。まず、自らの意識を変えていくことから進めてもらいたい。
23	女性	60歳代	備前地域	地域ごとの啓発活動をする。グループの結成で成果が出るのではないでしようか。身近な活動の方が、良い結果が出るように思います。
24	女性	60歳代	備前地域	(私の考えは古いかもしれませんが) それぞれの特性を活かした共同参画社会であって、全くの平等と言うわけにはいかないと思います。
25	女性	60歳代	備前地域	ずっと以前から男女共同参画については、色々と聞きますが、現実には全く実行されていない様に思います。
26	女性	70歳代	備前地域	行政が口を出す話ではない。
27	女性	70歳代	備前地域	男女共同参画を考えている団体について、何年も変わり映えもなく、キラメキフェスタをメインにやっておられますが、もう少し進歩があってもよいのでは。 虹の広場も担当団体の人の集まりみたいで、市民全体でできるイベント等考えて下さい。その人達とのつきあいのない人はなんにも知りません。
28	女性	70歳代	備前地域	男女の事であり、夫婦の事でもあり、我慢するしかない。結婚してから50年以上、いくら話しても理解しない主人。情けない。
29	女性	70歳代	備前地域	能力のある方は進んで発揮してほしい。

11. 回答者の属性

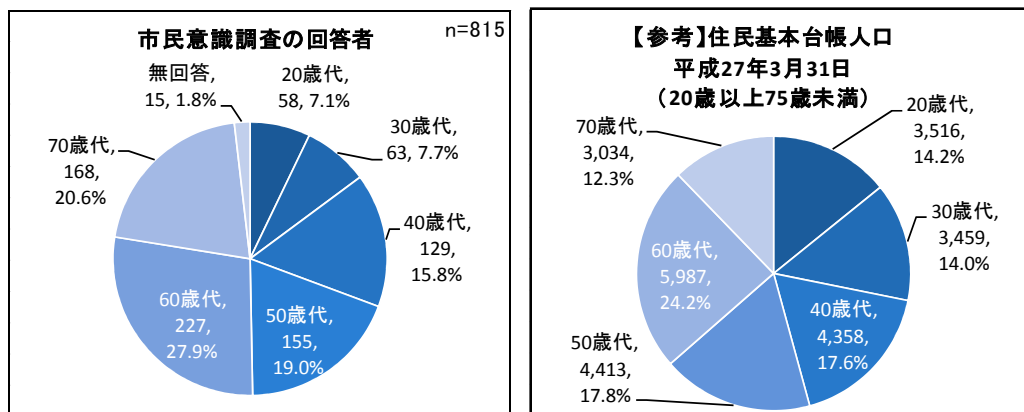
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が57.8%、「男性」が40.5%となっています。また、平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口と比較すると、「男性」の回答割合が低くなっています。



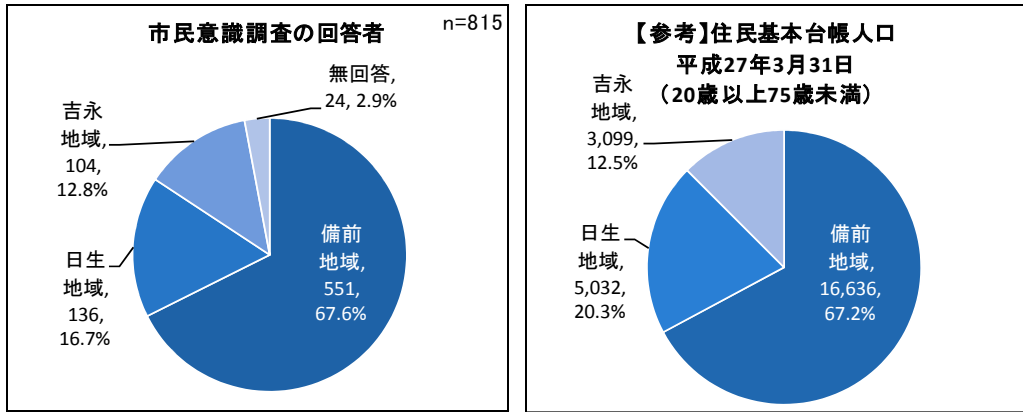
(2) 年齢

回答者の年齢は、「60歳代」が27.9%と最も高い割合となっており、次いで、「70歳代」が20.6%、「50歳代」が19.0%となっています。また、平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口と比較すると、「20歳代」及び「30歳代」の回答割合が低く、「60歳代」及び「70歳代」の回答割合が高くなっています。



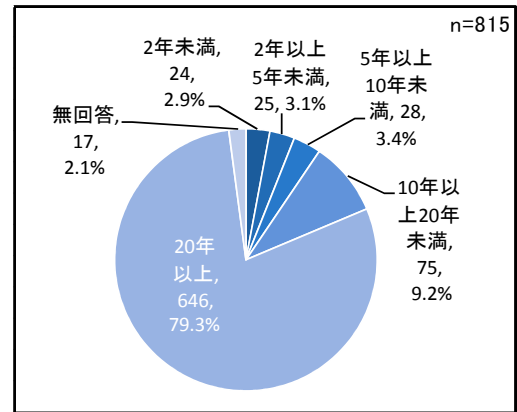
(3) 居住地

回答者の居住地は、「備前地域」が 67.6%、「日生地域」が 16.7%、「吉永地域」が 12.8% となっています。



(4) 居住年数

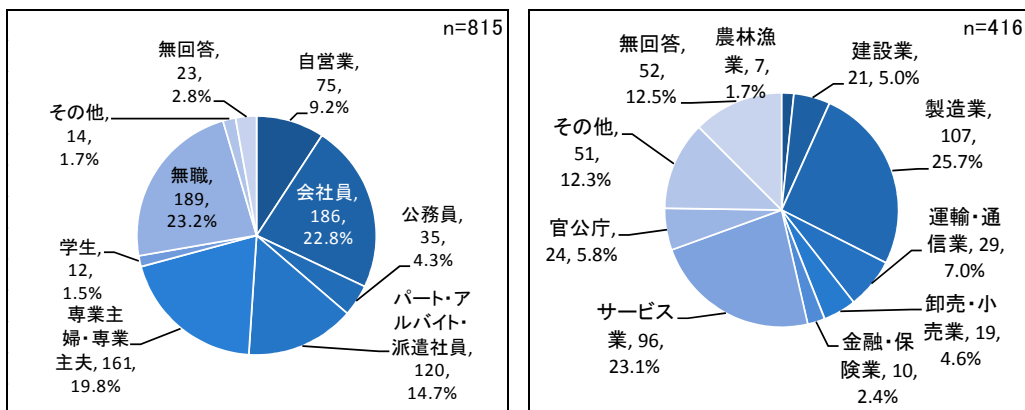
回答者の居住年数は、「20 年以上」が 79.3%と最も高い割合となっており、次いで、「10 年以上 20 年未満」が 9.2%、「5 年以上 10 年未満」が 3.4%となっています。



(5) 職業及び業種

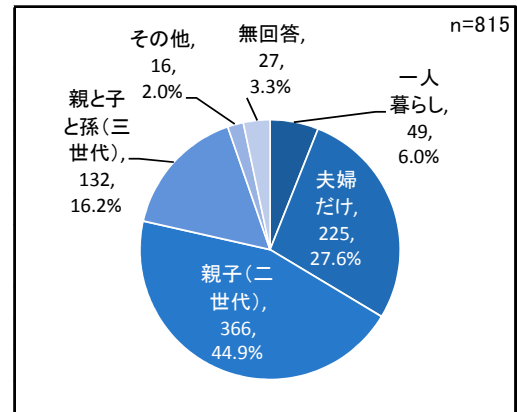
回答者の職業は、「無職」が 23.2%と最も高い割合となっており、次いで、「会社員」が 22.8%、「専業主婦・主夫」が 19.8%となっています。

また、「自営業」「会社員」「公務員」「パート・アルバイト・派遣社員」と回答した 416 人の業種は、「製造業」が 25.7%、「サービス業」が 23.1%となっています。



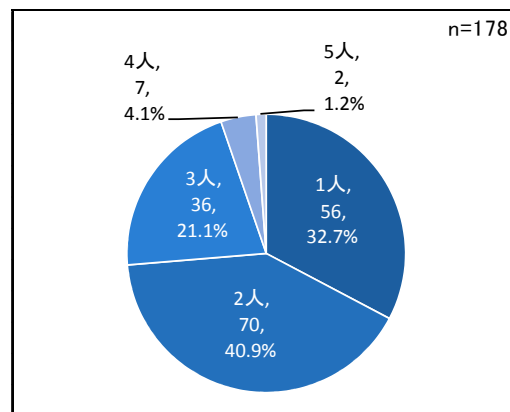
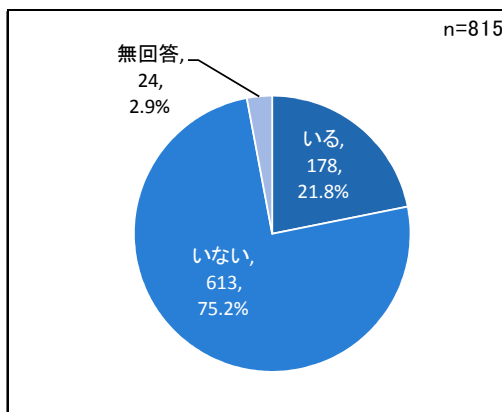
(6) 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（二世代）」が 44.9%、「夫婦だけ」が 27.6%、「親と子と孫（三世代）」が 16.2%となっています。



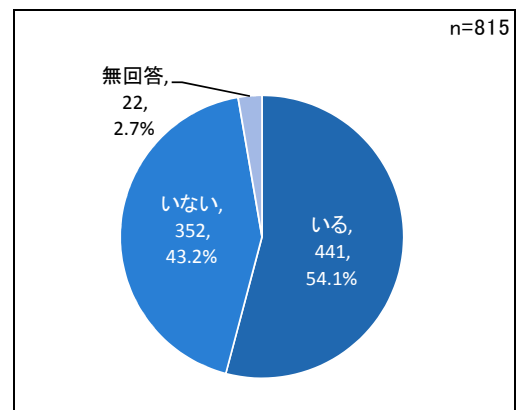
(7) 子どもの有無及び子どもの人数

回答者の現在養育中の子どもの有無は、「いない」が 75.2%、「いる」が 21.8%となっています。また、現在養育中の子どもが「いる」と回答した 178 人の子どもの人数は、「2 人」が 40.9%、「1 人」が 32.7%、「3 人」が 21.1%となっています。



(8) 高齢者の有無

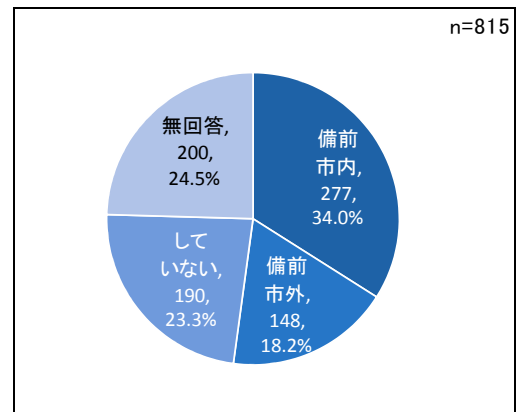
回答者の同居の家族（ご自身以外）に 65 歳以上の高齢者の有無は、「いる」が 54.1%、「いない」が 43.2%となっています。



(9) 生活行動範囲

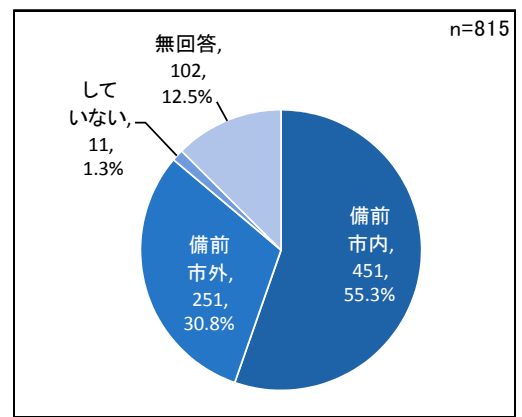
① 通勤・通学

回答者の通勤・通学先は、「備前市内」が 34.0%、「していない」が 23.3%、「備前市外」が 18.2%となっています。



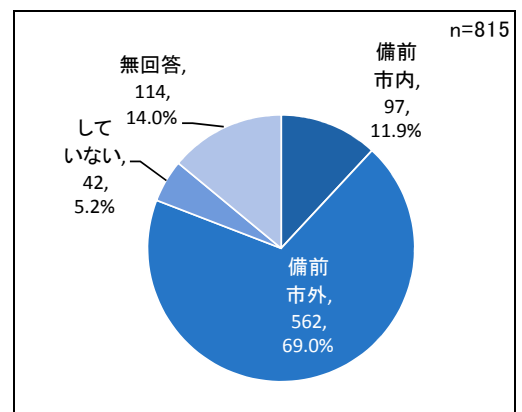
② 食料品・日用品の買物

回答者の食料品・日用品の買物先は、「備前市内」が 55.3%、「備前市外」が 30.8%となっています。



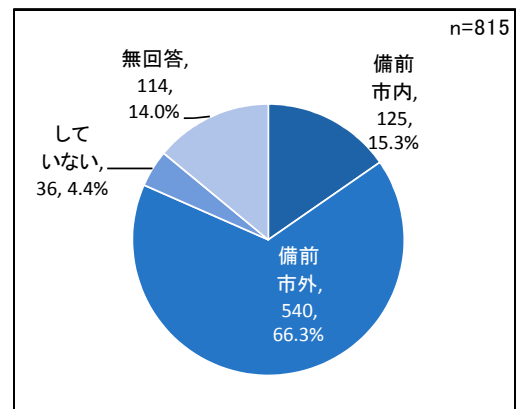
③ 嗜好品や高価な買物

回答者の嗜好品や高価な買物先は、「備前市外」が 69.0%、「備前市内」が 11.9%となっています。



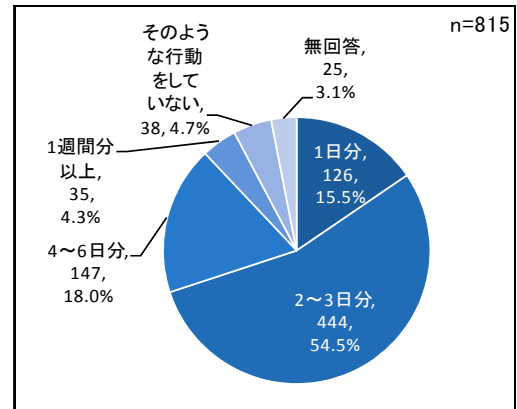
④ レストラン・飲食店

回答者のレストラン・飲食店の行き先は、「備前市外」が 66.3%、「備前市内」が 15.3%となっています。



(10) 1回あたりの買物量

回答者の1回あたりの買物量は、「2～3日分」が54.5%、「4～6日分」が18.0%、「1日分」が15.5%となっています。



(11) 利用する医療機関

回答者の利用する医療機関は、「市内の民間病院・医院等」が34.8%、「市外の病院・医院等」が23.6%となっています。

